2023（令和５）年度秋季（10月）入学
2024（令和６）年度春季（４月）入学

入学試験要項

■推　薦　入　学　試　験
■一　般　入　学　試　験
■社　会　人　入　学　試　験
■外国人留学生入学試験

THE INTERNATIONAL UNIVERSITY OF KAGOSHIMA,
GRADUATE SCHOOL

鹿児島国際大学大学院

経済学研究科／地域経済政策専攻	博士前期課程（修士課程）
経済学研究科／地域経済政策専攻	博士後期課程
福祉社会学研究科／社会福祉学専攻	博士前期課程（修士課程）
福祉社会学研究科／社会福祉学専攻	博士後期課程
国際文化研究科／国際文化専攻	博士前期課程（修士課程）
国際文化研究科／国際文化専攻	博士後期課程

鹿児島国際大学大学院　アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

【経済学研究科】

経済学研究科の目的

経済学研究科は，経済学・経営学に関する深い学識及び卓越した能力を養うとともに，それに基づいて国際的視座に立って高度に専門的な業務に携わるための高度の研究能力をもつ優秀な人材の育成を主目的とし，経済学・経営学に関して研究者として自立して研究活動を行う能力と豊かな学識を持つ者の養成も併せて目的としています。

博士前期課程

博士前期課程の目的

博士前期課程では，広い視野に立って精深な学識を授け，専攻分野における研究能力または，高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的としています。

経済学研究科博士前期課程は，目的，ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，本学の教育を受けるのに必要な知識を有し，向上心を持った，次のような人を国内外から受け入れます。

（知識・技能）

AP1 経済や経営の諸課題についての十分な基礎的な知識を有する人。

（思考・判断・表現）

AP2 経済や経営の諸課題についての考えを持ち，解決に向けた考えを思考し，表現できる人。

（関心・意欲・態度）

AP3 地域経済や経営を幅広い視野で観察することができ，地域経済をより豊かにする情熱を持っている人。

AP4 地域や世界の経済及び経営が抱える諸問題を，修得した専門知識を活かして解決する意欲を持っている人。

AP5 国際社会で活躍できる専門職を目指す人。

博士後期課程

博士後期課程の目的

博士後期課程では，専攻分野について，研究者として自立して研究活動を行い，またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

経済学研究科博士後期課程は，目的，ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，本学の教育を受けるのに必要な知識を有する次のような人を国内外から受け入れます。

（知識・技能）

AP1 経済や経営の諸課題について，博士前期課程修了程度の知識及び解決能力を有する人。

（思考・判断・表現）

AP2 修得した専門知識を活かして，地域や世界の経済及び経営が抱える諸問題についての考えを持ち，解決に向けた考えを思考し，表現できる人。

（関心・意欲・態度）

AP3 地域経済や経営を幅広い視野で観察することができ，地域経済をより豊かにする情熱を持っている人。

AP4 博士前期課程で身に付けた知識・能力をさらに深化・発展させる意欲がある人。

AP5 国際社会で活躍できる専門職を目指す人。

【福祉社会学研究科】

福祉社会学研究科の目的

福祉社会学研究科は，福祉社会に関する深い学識及び卓越した能力を養うとともに，それに基づいて高度に専門的な業務に携わるための高度の研究能力をもつ優秀な人材の育成を主目的とし，福祉社会学に関する研究者として自立した研究活動を行う能力と豊かな学識を持つ者の養成も併せて目的としています。

博士前期課程

博士前期課程の目的

博士前期課程では，広い視野に立って精深な学識を授け，専攻分野における研究能力または，高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的としています。

福祉社会学研究科博士前期課程は，目的，ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，本学の教育を受けるのに必要な知識を有する次のような人を国内外から受け入れます。

（知識・技能）

AP1 社会福祉の理論と実践に関する学士課程修了相当以上の学修及び研究に必要な基礎的な知識・技能を有する人。

（思考・判断・表現）

AP2 広い教養と高い倫理観をもち，社会福祉研究における社会的責任を認識している人。

（関心・意欲・態度）

AP3 社会福祉に関する理論的・実践的研究とともに，保健医療・福祉・介護・教育・保育などを考究し，問題の解明と援助・支援について主体的に学ぶ意欲を持っている人。

博士後期課程

博士後期課程の目的

博士後期課程では，専攻分野について，研究者として自立して研究活動を行い，またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

福祉社会学研究科博士後期課程は，目的，ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，本学の教育を受けるのに必要な知識を有する次のような人を国内外から受け入れます。

（知識・技能）

AP1 社会福祉の理論と実践に関する学修及び研究に必要な専門知識・技能を有する人。

（思考・判断・表現）

AP2 自らが行う研究について，博士学位論文作成までの概要及び計画を説明できる人。

（関心・意欲・態度）

AP3 社会福祉の諸課題に対応する研究に取り組み，高度な専門的知識を持って国内外の問題解決に貢献していこうとする情熱を持っている人。

【国際文化研究科】

国際文化研究科の目的

国際文化研究科は，国際文化に関する深い学識及び卓越した能力を養うとともに，それに基づいて国際的視座に立って高度に専門的な業務に携わるための高度の研究能力をもつ優秀な人材の育成を主目的とし，国際文化に関して研究者として自立して研究活動を行う能力と豊かな学識を持つ者の養成も併せて目的としています。

博士前期課程

博士前期課程の目的

博士前期課程では，広い視野に立って精深な学識を授け，専攻分野における研究能力または，高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的としています。

国際文化研究科博士前期課程は，目的，ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，本学の教育を受けるのに必要な知識を有する次のような人を国内外から受け入れます。

（知識・技能）

AP1 国際文化に関する学士課程修了相当以上の学識を有し，国際交流に対する関心と旺盛な向学心のある人。

（思考・判断・表現）

AP2 人類が築き上げてきた様々な文化に関心を持ち，異文化理解や国際社会の平和共存等に関する自らの考えを表現できる人。

（関心・意欲・態度）

AP3 外国語を通じて外国人と交流することに関心を持ち，このことを通じて国際交流に貢献しようという意欲を持っている人。

AP4 日本語や日本文化，アジア近隣諸国の文化研究に関心を持っている人。

博士後期課程

博士後期課程の目的

博士後期課程では，専攻分野について，研究者として自立して研究活動を行い，またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

国際文化研究科博士後期課程は，目的，ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，本学の教育を受けるのに必要な専門的知識を有する次のような人を国内外から受け入れます。

（知識・技能）

AP1 国際文化に関する博士前期課程修了相当以上の学識を有し，国際交流に対する強い関心と旺盛な向学心のある人。

（思考・判断・表現）

AP2 自らが行う研究を在学期間に博士学位論文という成果に結束させるためにどのような準備が必要かを考え，それを説明できる人。

（関心・意欲・態度）

AP3 よりよい社会の実現や，異文化交流の発展のために，実践的知見を踏まえつつ学問的貢献を目指す意欲のある人。

目　次

本冊子には，2023（令和５）年度秋季（10月）又は2024（令和６）年度春季（４月）に経済学研究科・福祉社会学研究科・国際文化研究科の各博士前期課程（修士課程）及び博士後期課程への入学を希望する方に必要な情報が記載されています。間違いのないように出願手続を行ってください。

募集には，「推薦」「一般」「社会人」「外国人留学生」の４種類があります。ただし，「推薦」は博士前期課程（修士課程）のみとなっています。博士前期課程（修士課程）に関する事項は**第１章**に，博士後期課程に関する事項は**第２章**に，「教員一覧・授業科目・研究テーマ・研究要旨」は**第３章**に記載されています。論文指導を希望する研究指導教員については，必ず出願前に希望する教員に連絡のうえ，出願してください。（連絡方法については，入試・広報課までお問い合わせください。）

なお，出願書類所定用紙は，別途封筒をご確認ください。出願に関してご不明な点はお問い合わせください。

第１章
博士前期課程（修士課程）

2023（令和５）年度秋季（10月）入学・2024（令和６）年度春季（４月）入学博士前期課程（修士課程）入学試験概要

入試区分　募集人員　入試日程……1

＜推薦入学試験＞
１．出願資格……2
２．選考方法……2

＜一般入学試験＞
１．出願資格……3
２．選考方法……3
３．外国語試験の免除……3

＜社会人入学試験＞
１．出願資格……4
２．選考方法……4

＜外国人留学生入学試験＞
１．出願資格……5
２．選考方法……5

＜博士前期課程（修士課程）入学試験出願手続・合格発表・入学手続＞
１．出願手続……6
２．出願書類……6
３．合格発表……7
４．入学手続……7

2023（令和５）年度秋季（10月）入学　大学院学費等納入金（博士前期課程（修士課程））…8
2024（令和６）年度春季（４月）入学　大学院学費等納入金（博士前期課程（修士課程））…9
長期履修制度　……10

○経済学研究科／地域経済政策専攻　博士前期課程（修士課程）授業科目一覧　…11
○福祉社会学研究科／社会福祉学専攻　博士前期課程（修士課程）授業科目一覧…12
○国際文化研究科／国際文化専攻　博士前期課程（修士課程）授業科目一覧　……13

第２章
博士後期課程

2023（令和５）年度秋季（10月）入学・2024（令和６）年度春季（４月）入学博士後期課程入学試験概要

入試区分　募集人員　入試日程　……15

＜一般入学試験＞
１．出願資格　……16
２．選考方法　……16
３．外国語試験の免除　……16

＜社会人入学試験＞
１．出願資格　……17
２．選考方法　……17

＜外国人留学生入学試験＞
１．出願資格　……18
２．選考方法　……18

＜博士後期課程入学試験出願手続・合格発表・入学手続＞
１．出願手続　……20
２．出願書類　……20
３．合格発表　……21
４．入学手続　……21

2023（令和５）年度秋季（10月）入学　大学院学費等納入金（博士後期課程）　……22
2024（令和６）年度春季（４月）入学　大学院学費等納入金（博士後期課程）　……23

○経済学研究科／地域経済政策専攻　博士後期課程授業科目一覧　……24
○福祉社会学研究科／社会福祉学専攻　博士後期課程授業科目一覧　……25
○国際文化研究科／国際文化専攻　博士後期課程授業科目一覧　……26

第３章
大学院専任教員一覧　授業科目・研究テーマ・研究要旨

○経済学研究科　……27
○福祉社会学研究科　……34
○国際文化研究科　……39

第１章

博士前期課程（修士課程）

2023（令和５）年度秋季（10月）入学
2024（令和６）年度春季（４月）入学
博士前期課程（修士課程）入学試験概要

入試区分

1	推薦入学試験	2	一般入学試験	3	社会人入学試験	4	外国人留学生入学試験

募集人員

研究科	専攻	課程	募集人員	
			秋季（10月）入学	春季（４月）入学
経済学研究科	地域経済政策専攻	博士前期課程（修士課程）	若干名	10名
福祉社会学研究科	社会福祉学専攻	博士前期課程（修士課程）	若干名	10名
国際文化研究科	国際文化専攻	博士前期課程（修士課程）	若干名	10名

入試日程

	秋季（10月）入学	春季（４月）入学	
		前期日程	後期日程
出願期間〈必着〉	2023（令和5）年 6月6日（火）～6月16日（金）	2023（令和5）年 8月15日（火）～8月21日（月）	2024（令和6）年 1月4日（木）～1月18日（木）
試験日	2023（令和5）年 7月1日（土）	2023（令和5）年 9月2日（土）	2024（令和6）年 2月17日（土）
試験場	本学	本学	本学
合格発表日	2023（令和5）年 7月14日（金）	2023（令和5）年 9月15日（金）	2024（令和6）年 3月1日（金）
入学手続期間〈必着〉	2023（令和5）年 7月14日（金）～8月4日（金）	2023（令和5）年 9月15日（金）～10月6日（金）	2024（令和6）年 3月1日（金）～3月14日（木）

Ⅰ 推薦入学試験

1．出願資格

【秋季（10月）入学】

鹿児島国際大学を令和5年9月卒業見込みの者で，成績優秀であり，本学教員から推薦を受けている者

【春季（４月）入学】

鹿児島国際大学を令和6年3月卒業見込みの者で，成績優秀であり，本学教員から推薦を受けている者

2．選考方法

書類審査，面接試験により総合的に判定します。

試験日については，P1の入試日程で確認してください。

経済学研究科 地域経済政策専攻
福祉社会学研究科 社会福祉学専攻
国際文化研究科 国際文化専攻

時　　間	科　　目	備　　考
9：40～	面　　接	口　　述 （外国人留学生は日本語能力の審査を含む）

2 一般入学試験

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

【秋季（10月）入学】	【春季（４月）入学】
(1) 大学を卒業した者又は令和5年9月までに卒業見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和5年9月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者若しくは令和5年9月までに修了見込みの者又は，学士の学位取得者若しくは令和5年9月までに取得見込みの者のいずれかに該当する者 ※外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 ※外国の大学等において，修業年限が3年以上の課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程）を修了した者又は令和5年9月までに修了見込みの者 (6) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者で，令和5年9月末までに22歳に達する者	(1) 大学を卒業した者又は令和6年3月までに卒業見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和6年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者若しくは令和6年3月までに修了見込みの者又は，学士の学位取得者若しくは令和6年3月までに取得見込みの者のいずれかに該当する者 ※外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 ※外国の大学等において，修業年限が3年以上の課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程）を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者 (6) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者で，令和6年3月末までに22歳に達する者

2. 選考方法

書類審査，筆記試験〔専門科目，外国語（経済学研究科・福祉社会学研究科は英語。国際文化研究科は英語，フランス語，中国語，韓国語，ドイツ語から1科目選択）。〕，面接試験により総合的に判定します。

※外国語試験は，当該外国語の辞書１冊持込可。ただし，和英辞典（他の外国語についてはそれに準ずるもの），電子辞書等を除く。

試験日については，P1の入試日程で確認してください。

経済学研究科 地域経済政策専攻

時　間	科　目	備　　考
9：40～10：40	専門科目	経済学又は経営学から選択 1,200～1,600字
11：00～12：00	外国語	英　　語
筆記試験終了後	面　　接	口　　述

福祉社会学研究科 社会福祉学専攻

時　間	科　目	備　　考
9：40～10：40	専門科目	社会福祉系科目
11：00～12：00	外国語	英　　語
筆記試験終了後	面　　接	口　　述

国際文化研究科 国際文化専攻

時　間	科　目	備　　考
9：40～10：40	専門科目	国際文化に関する小論文 1,200～1,600字
11：00～12：00	外国語	英語，フランス語，中国語，韓国語，ドイツ語から１科目選択
筆記試験終了後	面　　接	口　　述

3. 外国語試験の免除

一般入学試験において，出願時から過去２年以内のスコアが下表の者については，出願時の申請により外国語の筆記試験が免除されます。免除を希望する者は，スコアシート又は資格を証明する書類の原本を出願時に提出してください。

外国語名	英　　語	フランス語（国際文化研究科のみ）	中国語（国際文化研究科のみ）
点　数	実用英語技能検定 準1級以上 TOEIC 730点以上	実用フランス語技能検定試験 2級以上	中国語検定試験 2級以上 漢語水平考試（HSK） 3級以上
外国語名	韓国語（国際文化研究科のみ）	ドイツ語（国際文化研究科のみ）	
点　数	ハングル能力検定 準1級以上 韓国語能力試験（TOPIK） 5級以上	ドイツ語技能検定試験 2級以上	

3 社会人入学試験

「社会人入学試験」は，勤労者のリカレント教育や生涯学習に寄与することを目的として開設されたものです。企業や自治体などに勤務しながら，大学院で学ぶことを希望する社会人のために「昼夜開講制」を実施します。

1．出願資格

次の各号のいずれかに該当し，社会人（下記〔注意事項〕参照）である者とします。

【秋季（10月）入学】	【春季（４月）入学】
(1) 大学を卒業した者又は令和5年9月までに卒業見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和5年9月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者若しくは令和5年9月までに修了見込みの者又は，学士の学位取得者若しくは令和5年9月までに取得見込みの者のいずれかに該当する者 ※外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 ※外国の大学等において，修業年限が3年以上の課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程）を修了した者又は令和5年9月までに修了見込みの者 (6) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者	(1) 大学を卒業した者又は令和6年3月までに卒業見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和6年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者若しくは令和6年3月までに修了見込みの者又は，学士の学位取得者若しくは令和6年3月までに取得見込みの者のいずれかに該当する者 ※外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 ※外国の大学等において，修業年限が3年以上の課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程）を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者 (6) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者

〔注意事項〕社会人とは，次のいずれか一つを満たす者とします。

①大学卒業後2年以上の職歴を有し，かつ現に職に就いている者
②大学卒業後5年以上を経過している者
③6年以上の職歴を有する者
④企業又は団体から派遣された者

2．選考方法

書類審査，筆記試験（小論文），面接試験により総合的に判定します。

試験日については，P1の入試日程で確認してください。

経済学研究科 地域経済政策専攻

時　間	科　目	備　考
9：40～10：40	小論文	経済学又は経営学から選択 1,000字程度
筆記試験終了後	面　接	口　述

福祉社会学研究科 社会福祉学専攻

時　間	科　目	備　考
9：40～10：40	小論文	1,000字程度（語句説明問題400字を含む）
筆記試験終了後	面　接	口　述

国際文化研究科 国際文化専攻

時　間	科　目	備　考
9：40～10：40	小論文	国際文化に関する小論文 1,000字程度
筆記試験終了後	面　接	口　述

3．小論文試験の免除

社会人入学試験において，出願時から過去２年以内に「鹿児島国際大学サテライトキャンパス」での指定講座を受講し，修了証を授与された者については，出願時の申請により小論文の筆記試験を免除する。免除を希望する者は，修了証の写しを出願時に提出する。

4 外国人留学生入学試験

外国人留学生入学試験の出願書類は，他の入学試験とは異なります。また，入学試験の実施も他の入学試験と異なる場合があります。なお，入学後は，日本人学生と同じように取り扱います。授業は日本語で行われますので，公益財団法人日本国際教育支援協会（国際交流基金含む）が実施する**「日本語能力試験N１(旧１級)」あるいはそれと同程度の日本語能力が必要**です。

1．出願資格

日本国籍及び日本における永住資格を有しない者で，「留学」の在留資格を所有あるいは入学までに取得できる者とし，次の各号のいずれかに該当する者で，公益財団法人日本国際教育支援協会（国際交流基金含む）が実施する「日本語能力試験N１(旧1級)」あるいはそれと同程度の日本語能力を持つ者とします。

【秋季（10月）入学】	【春季（４月）入学】
(1) 日本の大学を卒業した者又は令和5年9月までに卒業見込みの者 (2) 日本において学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和5年9月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者若しくは令和5年9月までに修了見込みの者又は，学士の学位取得者若しくは令和5年9月までに取得見込みの者のいずれかに該当する者 ※外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 ※外国の大学等において，修業年限が3年以上の課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程）を修了した者又は令和5年9月までに修了見込みの者 (6) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者	(1) 日本の大学を卒業した者又は令和6年3月までに卒業見込みの者 (2) 日本において学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和6年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者若しくは令和6年3月までに修了見込みの者又は，学士の学位取得者若しくは令和6年3月までに取得見込みの者のいずれかに該当する者 ※外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 ※外国の大学等において，修業年限が3年以上の課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程）を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者 (6) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者

《注意》「日本語能力試験」の詳細については公益財団法人日本国際教育支援協会（国際交流基金含む），
「日本留学試験」の詳細については独立行政法人日本学生支援機構に照会すること。
「日本語能力試験」受付センター　TEL03-6686-2974
「日本留学試験」留学試験課　TEL03-6407-7457

2．選考方法

書類審査，筆記試験（小論文），面接試験により総合的に判定します。

試験日については，P1の入試日程で確認してください。

経済学研究科　地域経済政策専攻
福祉社会学研究科　社会福祉学専攻
国際文化研究科　国際文化専攻

時　間	科　目	備　考
9：40～10：40	小論文	日本語600字程度
筆記試験終了後	面　接	口　述 （日本語能力の審査を含む）

博士前期課程（修士課程）入学試験出願手続・合格発表・入学手続

1．出願手続

（1）出願方法

①出願は所定の出願用封筒を用い，書留速達扱いの郵送又は直接持参によって行ってください。

②窓口受付は日曜日・祝日を除き，9:00～16:30までとします。（ただし，土曜日は9:00～12:00まで）

（2）出願上の留意事項

①出願書類の記入事項及び書類などに不備がある場合は受け付けません。

②出願書類受理後は，いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。また，入学検定料の払い戻し及び出願書類の返却はできません。ただし，出願後に住所変更などが生じた場合は，直ちに連絡してください。

（3）出願書類提出先

〒891－0197　鹿児島県鹿児島市坂之上8－34－1

鹿児島国際大学　入試・広報課　電話（099）261－3211（代）

2．出願書類

入試区分／提出書類	推薦	一般	社会人	外国人留学生	備　考
志願票	○	○	○	○	所定の用紙（様式A）に本人が記入してください。
入学検定料・写真票・受験票	○	○	○	○	**推薦入試志願者20,000円（銀行振込）「電信扱」，その他の志願者30,000円（銀行振込）「電信扱」** 入学検定料は，本学所定の入学志願書の（B）～（F）票に必要事項を記入のうえ，振込用紙を切り離さずに銀行窓口へ出してください。 振り込みの後，入学志願書の（B）～（D）・（F）票を受け取り，（C）及び（D）票に取扱銀行収納印があるかどうか確認してください。なお，**取扱銀行収納印のないものは受け付けません。**また，一度振り込んだ入学検定料はお返しできません。（F）票は，大切に保管してください。
志願者調書	○	○	○	○	所定の用紙（様式G）に本人が記入してください。
卒業証明書又は卒業見込証明書など	○	○	○	○	出身大学等発行の**原本**を提出してください。（※中国の大学等を卒業の場合は，**公正証書**を添付）なお，各入試区分の出願資格（２）の者は，学校教育法第104条第7項の規定による学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出してください。
学業成績証明書	○	○	○	○	出身大学等発行の**原本**を提出してください。
受験票返送用封筒	○	○	○	○	所定の受験票返送用封筒に，受験票返送先の郵便番号・住所・氏名を明記し，切手（404円分）を貼ってください。**（簡易書留）**
研究計画書	○	○	○	○	所定の用紙（様式H）に本人が記入してください。
推薦書	○	（任意）	①	（任意）	所定の用紙（様式I）への記入を本学教員に依頼してください。 ①企業又は団体からの派遣者のみ，所定の用紙（様式I）への記入を企業又は団体の長に依頼してください。**（厳封で提出）**
スコアシート又は資格を証明する書類		②	②		②外国語試験免除希望者，小論文試験免除希望者のみ提出してください。 **（スコア又は資格についてはP3～P4参照）**
日本語能力を証明する書類	③			○	「**日本語能力認定書**（所定の用紙（様式K））」又は「**日本語能力試験（N1〈旧1級〉）の成績証明書の原本**」を提出してください。 ③外国国籍の方のみ提出してください。
住民票	④			④	④**外国国籍を有する日本在住の方のみ**，市区町村長の発行した**原本**を提出してください。**（在留資格，期間の記載されたもの）**
身元保証書	⑤			○	所定の用紙（様式L）により提出してください。 ⑤外国国籍の方のみ提出してください。
在職証明書			⑥		⑥企業又は団体からの派遣者のみ，所属機関の発行した**原本**を提出してください。
同一学園設置校の卒業証明書		⑦	⑦	⑦	⑦鹿児島国際大学卒業者以外の同一学園（鹿児島高等学校，鹿児島修学館高等学校，鹿児島国際大学短期大学部）卒業者のみ出身校発行の**原本**を提出してください。

※出願書類はすべて**日本語で作成**してください。また，日本語及び英語以外の言語で作成された書類には，**日本語訳又は英語訳を添付**してください。

※本学大学院科目等履修生等が出願する場合，既に提出している証明関係書類については，提出を省略できることがありますので，事前にご相談ください。

3．合格発表

本人に合否を郵便で通知します。

合格者には合格通知書と入学に必要な書類を郵送します。

なお，合否に関する電話・郵便などの問い合わせには一切応じません。

合格発表日についてはP1の入試日程で確認してください。

4．入学手続

入学手続（入学手続関係書類）の詳細については，合格通知書送付の際に通知します。

入学手続期間についてはP1の入試日程で確認してください。

（1）納入金

P8～P9参照。

（2）奨学金及び援助金

①入学者（日本人学生対象）は，入学後，本人の申請により選考のうえ，独立行政法人日本学生支援機構などから奨学金が貸与される制度があります。

②私費外国人留学生は，入学後，本人の申請により選考のうえ，授業料の30％を減免する私費外国人留学生授業料減免制度があります。

③入学者は，入学後，本人の申請により選考のうえ，鹿児島国際大学同窓会奨学財団から奨学金などが貸与される制度があります。

（3）外国人留学生学習奨励費

入学後，本人の申請により選考のうえ，独立行政法人日本学生支援機構が学習奨励費を給付する制度があります。

入学手続完了後，指定の期日までに入学辞退を申し出，所定の手続を行った場合は，入学金を除く入学手続時納入金（授業料・教育充実費・委託徴収費）を返還します。

2023（令和５）年度秋季（10月）入学大学院学費等納入金（博士前期課程（修士課程））

【経済学研究科・福祉社会学研究科・国際文化研究科】

入学手続時納入金　　**【納入期限：入学手続締切日】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士前期課程（修士課程） 国際文化研究科　博士前期課程（修士課程）		福祉社会学研究科　博士前期課程（修士課程）	
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	入学金	※77,500	※155,000	※77,500	※155,000
	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000
	小計	220,000	297,500	220,000	297,500
委託徴収費	学友会 入会金	※1,000	※1,000	※1,000	※1,000
	学友会 会費	2,500	2,500	2,500	2,500
	同窓会入会金	※（注）③	※18,000	※（注）③	※18,000
	学生教育研究災害傷害保険料	※1,750	※1,750	※1,750	※1,750
	学生教育研究賠償責任保険料	※680	※680	※680	※680
	社会福祉学会費			※5,000	※5,000
	小計	5,930	23,930	10,930	28,930
合計		225,930	321,430	230,930	326,430

第Ⅱ期納入金　　**【納入期限：2023（令和５）年12月25日（月）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士前期課程（修士課程） 国際文化研究科　博士前期課程（修士課程）		福祉社会学研究科　博士前期課程（修士課程）	
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000
合計		142,500	142,500	142,500	142,500

第Ⅲ期納入金　　**【納入期限：2024（令和６）年４月15日（月）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士前期課程（修士課程） 国際文化研究科　博士前期課程（修士課程）		福祉社会学研究科　博士前期課程（修士課程）	
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000
委託徴収費	学友会費	5,000	5,000	5,000	5,000
合計		147,500	147,500	147,500	147,500

第Ⅳ期納入金　　**【納入期限：2024（令和６）年６月25日（火）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士前期課程（修士課程） 国際文化研究科　博士前期課程（修士課程）		福祉社会学研究科　博士前期課程（修士課程）	
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000
合計		142,500	142,500	142,500	142,500

年間納入金額　　単位：円

合計	658,430	753,930	663,430	758,930

（注）①委託徴収費は入学手続期間内に納入してください。
②※印は初年度のみ必要です。
③同窓会入会金（18,000円）については，本学学部卒業者は納入の必要はありません。
（同一学園卒業者は必要）
④学友会費　年額5,000円（ただし，秋季入学者は入学年・修了年は2,500円ずつ徴収）

2024（令和６）年度春季（4月）入学大学院学費等納入金（博士前期課程（修士課程））

【経済学研究科・福祉社会学研究科・国際文化研究科】

入学手続時納入金　　**【納入期限：入学手続締切日】**　　単位：円

費目			経済学研究科　博士前期課程（修士課程） 国際文化研究科　博士前期課程（修士課程）		福祉社会学研究科　博士前期課程（修士課程）	
			本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	入学金		※77,500	※155,000	※77,500	※155,000
	授業料		117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費		25,000	25,000	25,000	25,000
	小計		220,000	297,500	220,000	297,500
委託徴収費	学友会	入会金	※1,000	※1,000	※1,000	※1,000
		会費	5,000	5,000	5,000	5,000
	同窓会入会金		※（注）③	※18,000	※（注）③	※18,000
	学生教育研究災害傷害保険料		※1,750	※1,750	※1,750	※1,750
	学生教育研究賠償責任保険料		※680	※680	※680	※680
	社会福祉学会費				※5,000	※5,000
	小計		8,430	26,430	13,430	31,430
合計			228,430	323,930	233,430	328,930

第Ⅱ期納入金　　**【納入期限：2024（令和６）年６月25日（火）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士前期課程（修士課程） 国際文化研究科　博士前期課程（修士課程）		福祉社会学研究科　博士前期課程（修士課程）	
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000
合計		142,500	142,500	142,500	142,500

第Ⅲ期納入金　　**【納入期限：2024（令和６）年10月15日（火）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士前期課程（修士課程） 国際文化研究科　博士前期課程（修士課程）		福祉社会学研究科　博士前期課程（修士課程）	
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000
合計		142,500	142,500	142,500	142,500

第Ⅳ期納入金　　**【納入期限：2024（令和６）年12月25日（水）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士前期課程（修士課程） 国際文化研究科　博士前期課程（修士課程）		福祉社会学研究科　博士前期課程（修士課程）	
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000
合計		142,500	142,500	142,500	142,500

年間納入金額　　単位：円

合計	655,930	751,430	660,930	756,430

（注）①委託徴収費は入学手続期間内に納入してください。
②※印は初年度のみ必要です。
③同窓会入会金（18,000円）については，本学学部卒業者は納入の必要はありません。
（同一学園卒業者は必要）
④学友会費　年額5,000円

【長期履修制度】

博士前期課程（修士課程）では，職業を有している等の事情により，本来の標準修業年限（2年）での教育課程修了が困難な方を対象として，長期履修制度を導入しています。制度の概要は次のとおりです。

・長期履修学生として申請できる者は，一般入学試験，社会人入学試験の合格者です。

・長期履修期間は3年です。

・授業料は，標準修業年限（2年）に相当する授業料の総額を長期履修期間の年数（3年）で除して納付します。

・入学試験合格後，入学後に指導を希望する研究指導教員の指導を受け，修得すべき科目とその単位数，受講年次，受講時期などについて履修計画を立てたうえで申請します。

長期履修制度の申請を希望する者は，入試出願時に志願票の「長期履修制度利用の有無（博士前期課程のみ)」の「有」をチェックしてください。

詳しくは教務課大学院分室にお問い合わせください。電話 (099) 261-3211 (代表)

経済学研究科／地域経済政策専攻　博士前期課程（修士課程）授業科目一覧

（令和５年度現行）

区　分	授　業　科　目　名	配当年次
基本科目	経済理論	1･2
	経済政策	1･2
	国際経済	1･2
	経営管理	1･2
	会計	1･2
	国際経営	1･2
地域経済系科目	計量経済	1･2
	情報統計	1･2
	国際金融	1･2
	金融経済	1･2
	産業経済	1･2
	地域経済	1･2
	都市経済	1･2
	欧米経済	1･2
	環境経済	1･2
	保険経済	1･2
	財政	1･2
	経済史	1･2
	税法Ⅰ	1･2
	税法Ⅱ	1･2
	民法	1･2
	ワークショップⅠ（経済のグローバル化）	1･2
経営管理系科目	経営戦略	1･2
	人事管理	1･2
	中小企業経営	1･2
	財務管理	1･2
	経営情報	1･2
	産業経営	1･2
	経営史	1･2
	マーケティング	1･2
	会計監査	1･2
	管理会計	1･2
	税務会計	1･2
	観光ビジネス	1･2
	観光マネジメント	1･2
	ビジネス英語	1･2
	経営管理特講	1･2
	ワークショップⅡ（経営のグローバル化と直接投資）	1･2
演習科目	経済理論演習Ⅰ	1
	経済理論演習Ⅱ	1
	経済理論演習Ⅲ	2
	経済理論演習Ⅳ	2
	経済政策演習Ⅰ	1
	経済政策演習Ⅱ	1
	経済政策演習Ⅲ	2
	経済政策演習Ⅳ	2
	計量経済演習Ⅰ	1
	計量経済演習Ⅱ	1
	計量経済演習Ⅲ	2
	計量経済演習Ⅳ	2
	国際経済演習Ⅰ	1
	国際経済演習Ⅱ	1
	国際経済演習Ⅲ	2
	国際経済演習Ⅳ	2
	金融経済演習Ⅰ	1
	金融経済演習Ⅱ	1
	金融経済演習Ⅲ	2
	金融経済演習Ⅳ	2
	産業経済演習Ⅰ	1
	産業経済演習Ⅱ	1
	産業経済演習Ⅲ	2
	産業経済演習Ⅳ	2
	地域経済演習Ⅰ	1
	地域経済演習Ⅱ	1
	地域経済演習Ⅲ	2
	地域経済演習Ⅳ	2
演習科目	欧米経済演習Ⅰ	1
	欧米経済演習Ⅱ	1
	欧米経済演習Ⅲ	2
	欧米経済演習Ⅳ	2
	環境経済演習Ⅰ	1
	環境経済演習Ⅱ	1
	環境経済演習Ⅲ	2
	環境経済演習Ⅳ	2
	保険経済演習Ⅰ	1
	保険経済演習Ⅱ	1
	保険経済演習Ⅲ	2
	保険経済演習Ⅳ	2
	財政演習Ⅰ	1
	財政演習Ⅱ	1
	財政演習Ⅲ	2
	財政演習Ⅳ	2
	経済史演習Ⅰ	1
	経済史演習Ⅱ	1
	経済史演習Ⅲ	2
	経済史演習Ⅳ	2
	民法演習Ⅰ	1
	民法演習Ⅱ	1
	民法演習Ⅲ	2
	民法演習Ⅳ	2
	経営管理演習Ⅰ	1
	経営管理演習Ⅱ	1
	経営管理演習Ⅲ	2
	経営管理演習Ⅳ	2
	マーケティング演習Ⅰ	1
	マーケティング演習Ⅱ	1
	マーケティング演習Ⅲ	2
	マーケティング演習Ⅳ	2
	会計演習Ⅰ	1
	会計演習Ⅱ	1
	会計演習Ⅲ	2
	会計演習Ⅳ	2
	会計監査演習Ⅰ	1
	会計監査演習Ⅱ	1
	会計監査演習Ⅲ	2
	会計監査演習Ⅳ	2
	税務会計演習Ⅰ	1
	税務会計演習Ⅱ	1
	税務会計演習Ⅲ	2
	税務会計演習Ⅳ	2
	中小企業経営演習Ⅰ	1
	中小企業経営演習Ⅱ	1
	中小企業経営演習Ⅲ	2
	中小企業経営演習Ⅳ	2
	産業経営演習Ⅰ	1
	産業経営演習Ⅱ	1
	産業経営演習Ⅲ	2
	産業経営演習Ⅳ	2
	経営史演習Ⅰ	1
	経営史演習Ⅱ	1
	経営史演習Ⅲ	2
	経営史演習Ⅳ	2
	経営情報演習Ⅰ	1
	経営情報演習Ⅱ	1
	経営情報演習Ⅲ	2
	経営情報演習Ⅳ	2
	観光ビジネス演習Ⅰ	1
	観光ビジネス演習Ⅱ	1
	観光ビジネス演習Ⅲ	2
	観光ビジネス演習Ⅳ	2
実習科目	インターンシップ	1･2

※　入学後，論文指導を希望する演習科目を選択し，その教員名を志願票内の希望研究指導教員欄に記入してください。（第１志望，第２志望）

なお，経済学研究科専任教員の担当授業科目名・研究テーマ・主な研究要旨については，P27～P33を参照してください。

福祉社会学研究科／社会福祉学専攻 博士前期課程（修士課程）授業科目一覧
（令和５年度現行）

区分	授　業　科　目　名	配当年次
専門科目	対人援助学特講	1・2
	社会福祉方法論特講	1・2
	保健福祉学特講	1・2
	健康福祉学特講	1・2
	高齢者福祉学特講	1・2
	障害者福祉学特講	1・2
	児童福祉学特講	1・2
	保育学特講	1・2
	保育方法学特講	1・2
	精神医学特講	1・2
	精神保健福祉学特講	1・2
	臨床発達心理学特講	1・2
	地域リハビリテーション論特講	1・2
	生涯教育学特講	1・2
	職業教育学特講	1・2
	介護福祉学特講	1・2
	社会保障論特講	1・2
	社会福祉法制特講	1・2
	社会福祉政策特講	1・2
	地域福祉学特講	1・2
	社会病理学特講	1・2
	地域包括ケア特講	1・2
	福祉経営特講	1・2
	社会福祉調査特講	1・2
実習科目	フィールドワーク実習	1・2
演習科目	特別研究（演習）修士論文指導	1～2

※　入学後，論文指導を希望する教員名を志願票内の希望研究指導教員欄に記入してください。（第１志望，第２志望）
　なお，福祉社会学研究科専任教員の担当科目名・研究テーマ・主な研究要旨については，P34～P38を参照してください。

国際文化研究科／国際文化専攻　博士前期課程（修士課程）授業科目一覧

（令和５年度現行）

科目区分	分野名	授業科目名	配当年次
専攻分野	言語文化	英語特殊講義Ⅰ	1・2
		英語特殊講義Ⅱ	1・2
		英語教育法Ⅰ	1・2
		英語教育法Ⅱ	1・2
		中国語特殊講義	1・2
		韓国語特殊講義	1・2
		フランス語特殊講義	1・2
		対照言語学特殊講義	1・2
		日欧比較言語論	1・2
		ロマンス語圏比較論	1・2
		アメリカ文学Ⅰ	1・2
		アメリカ文学Ⅱ	1・2
		イギリス文学Ⅰ	1・2
		イギリス文学Ⅱ	1・2
		中国文学Ⅰ	1・2
		中国文学Ⅱ	1・2
		フランス文学	1・2
		イギリス演劇Ⅰ	1・2
		イギリス演劇Ⅱ	1・2
		時事英語	1・2
		英語論文研究Ⅰ	1・2
		英語論文研究Ⅱ	1・2
		日本語学特殊講義	1・2
		日本語教育特殊講義	1・2
		日本語論文研究	1・2
	人間文化	日本文化と国語教育Ⅰ	1・2
		日本文化と国語教育Ⅱ	1・2
		国語表現法Ⅰ	1・2
		国語表現法Ⅱ	1・2
		日本古典文学Ⅰ	1・2
		日本古典文学Ⅱ	1・2
		日本近代文学Ⅰ	1・2
		日本近代文学Ⅱ	1・2
		教育学特殊講義Ⅰ	1・2
		教育学特殊講義Ⅱ	1・2
専攻分野	人間文化	漢文学	1・2
		日本語史	1・2
		日本史特殊講義Ⅰ	1・2
		日本史特殊講義Ⅱ	1・2
		韓国・朝鮮史特殊講義	1・2
		地域芸術文化論Ⅰ	1・2
		地域芸術文化論Ⅱ	1・2
		西洋音楽論Ⅰ	1・2
		西洋音楽論Ⅱ	1・2
		楽曲研究特殊講義Ⅰ	1・2
		楽曲研究特殊講義Ⅱ	1・2
		ドイツの歴史と文化	1・2
		東アジアの歴史地理Ⅰ	1・2
		東アジアの歴史地理Ⅱ	1・2
		考古学特論Ⅰ	1・2
		考古学特論Ⅱ	1・2
		考古学論文研究Ⅰ	1・2
		考古学論文研究Ⅱ	1・2
ワークショップ		ワークショップ１（自然と環境）	1・2
		ワークショップ２（考古学と情報科学Ⅰ）	1・2
		ワークショップ３（考古学と情報科学Ⅱ）	1・2
		ワークショップ４（音楽と表現Ⅰ）	1・2
		ワークショップ５（音楽と表現Ⅱ）	1・2
		ワークショップ６（音楽と舞台Ⅰ）	1・2
		ワークショップ７（音楽と舞台Ⅱ）	1・2
実習	文化研修	欧米文化研修	1・2
	考古学	考古学実習Ⅰ	1・2
		考古学実習Ⅱ	1・2
	インターンシップ	国際インターンシップ	1・2
海外研修	外国語	実用英語現地学習	1・2
演習		国際文化研究演習	1～2

※　入学後，論文指導を希望する教員名を志願票内の希望研究指導教員欄に記入してください。（第1志望，第2志望）
なお，国際文化研究科専任教員の担当授業科目名・研究テーマ・主な研究要旨については，P39～P46を参照してください。

第 2 章

博 士 後 期 課 程

2023（令和５）年度秋季（10月）入学
2024（令和６）年度春季（４月）入学
博士後期課程入学試験概要

入試区分

1	一般入学試験	2	社会人入学試験	3	外国人留学生入学試験

募集人員

研究科	専攻	課程	募集人員	
			秋季（10月）入学	春季（４月）入学
経済学研究科	地域経済政策専攻	博士後期課程	若干名	３名
福祉社会学研究科	社会福祉学専攻	博士後期課程	若干名	３名
国際文化研究科	国際文化専攻	博士後期課程	若干名	３名

入試日程

	秋季（10月）入学	春季（４月）入学	
		前期日程	後期日程
出願期間〈必着〉	2023（令和5）年 6月6日（火）～6月16日（金）	2023（令和5）年 8月15日（火）～8月21日（月）	2024（令和6）年 1月4日（木）～1月18日（木）
試験日	2023（令和5）年 7月1日（土）	2023（令和5）年 9月2日（土）	2024（令和6）年 2月17日（土）
試験場	本学	本学	本学
合格発表日	2023（令和5）年 7月14日（金）	2023（令和5）年 9月15日（金）	2024（令和6）年 3月1日（金）
入学手続期間〈必着〉	2023（令和5）年 7月14日（金）～8月4日（金）	2023（令和5）年 9月15日（金）～10月6日（金）	2024（令和6）年 3月1日（金）～3月14日（木）

Ⅰ 一般入学試験

1．出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

【秋季（10月）入学】	【春季（４月）入学】
(1) 修士の学位を有する者又は令和5年9月までに取得見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により修士の学位を授与された者又は令和5年9月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和5年9月までに授与される見込みの者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者	(1) 修士の学位を有する者又は令和6年3月までに取得見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により修士の学位を授与された者又は令和6年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和6年3月までに授与される見込みの者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者

2．選考方法

書類審査（修士論文・研究計画書等），外国語試験（経済学研究科・福祉社会学研究科は英語，国際文化研究科は英語，フランス語，中国語，ドイツ語から1科目選択），面接試験により総合的に判定します。

※修士論文の内容と博士後期課程の専攻希望領域が異なる志願者については，博士後期課程の専攻内容に関する論文試験を課す場合があります。

※外国語試験は，当該外国語の辞書1冊持込可。ただし，和英辞典（他の外国語はそれに準ずるもの），電子辞書等を除く。

試験日については，P15の入試日程で確認してください。

経済学研究科 地域経済政策専攻

時　間	科　目	備　　考
9：40～11：00	外国語	英　　語
筆記試験終了後	面　　接	口　　述

福祉社会学研究科 社会福祉学専攻

時　間	科　目	備　　考
9：40～11：00	外国語	英　　語
筆記試験終了後	面　　接	口　　述

国際文化研究科 国際文化専攻

時　間	科　目	備　　考
9：40～11：00	外国語	英語，フランス語，中国語，ドイツ語から１科目選択
筆記試験終了後	面　　接	口　　述

3．外国語試験の免除

一般入学試験において，出願時から過去２年以内のスコアが下表の者については，出願時の申請により外国語の筆記試験が免除されます。免除を希望する者は，スコアシート又は資格を証明する書類の原本を出願時に提出してください。

外国語名	英　　語	フランス語（国際文化研究科のみ）	中国語（国際文化研究科のみ）
点　数	実用英語技能検定 1級 TOEIC 900点以上	実用フランス語技能検定試験 準1級以上	中国語検定試験 1級 漢語水平考試（HSK） 6級以上

外国語名	ドイツ語（国際文化研究科のみ）
点　数	ドイツ語技能検定試験 準1級以上

2 社会人入学試験

「社会人入学試験」は，勤労者のリカレント教育や生涯学習に寄与することを目的として開設されたものです。企業や自治体などに勤務しながら，大学院で学ぶことを希望する社会人のために「昼夜開講制」を実施します。

1．出願資格

次の各号のいずれかに該当し，社会人（下記〔注意事項〕参照）である者とします。

【秋季（10月）入学】	【春季（４月）入学】
(1) 修士の学位を有する者又は令和5年9月までに取得見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により修士の学位を授与された者又は令和5年9月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和5年9月までに授与される見込みの者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者	(1) 修士の学位を有する者又は令和6年3月までに取得見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により修士の学位を授与された者又は令和6年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和6年3月までに授与される見込みの者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者

〔注意事項〕社会人とは，次のいずれか一つを満たす者とします。

①大学卒業後2年以上の職歴を有し，かつ現に職に就いている者
②大学卒業後5年以上を経過している者
③8年以上の職歴を有する者
④企業又は団体から派遣された者

2．選考方法

書類審査（修士論文及び最近の原著論文・研究計画書等），筆記試験（小論文），面接試験により総合的に判定します。

試験日については，P15の入試日程で確認してください。

経済学研究科 地域経済政策専攻

時　間	科　目	備　考
9：40～10：50	小 論 文	2,000字程度
筆記試験終了後	面　接	口　述

福祉社会学研究科 社会福祉学専攻

時　間	科　目	備　考
9：40～10：50	小 論 文	2,000字程度
筆記試験終了後	面　接	口　述

国際文化研究科 国際文化専攻

時　間	科　目	備　考
9：40～10：50	小 論 文	日本語2,000字程度，英語可1,000語程度
筆記試験終了後	面　接	口　述

3 外国人留学生入学試験

外国人留学生入学試験の出願書類は，他の入学試験とは異なります。また，入学試験の実施も他の入学試験と異なる場合があります。なお，入学後は，日本人学生と同じように取り扱います。授業は日本語で行われますので，公益財団法人日本国際教育支援協会（国際交流基金含む）が実施する**「日本語能力試験N1（旧１級）」あるいはそれと同程度の日本語能力が必要**です。

1．出願資格

日本国籍及び日本における永住資格を有しない者で，「留学」の在留資格を所有あるいは入学までに取得できる者とし，次の各号のいずれかに該当する者で，公益財団法人日本国際教育支援協会（国際交流基金含む）が実施する「日本語能力試験N1（旧1級）」あるいはそれと同程度の日本語能力を持つ者とします。

【秋季（10月）入学】	【春季（４月）入学】
(1) 日本の大学において修士の学位を取得した者又は令和5年9月までに取得見込みの者 (2) 日本において学校教育法第104条第7項の規定により修士の学位を授与された者又は令和5年9月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和5年9月までに授与される見込みの者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者	(1) 日本の大学において修士の学位を取得した者又は令和6年3月までに取得見込みの者 (2) 日本において学校教育法第104条第7項の規定により修士の学位を授与された者又は令和6年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において，修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和6年3月までに授与される見込みの者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者

《注意》「日本語能力試験」の詳細については公益財団法人日本国際教育支援協会（国際交流基金含む），
「日本留学試験」の詳細については独立行政法人日本学生支援機構に照会すること。
「日本語能力試験」受付センター　TEL03-6686-2974
「日 本 留 学 試 験」留学試験課　TEL03-6407-7457

2．選考方法

書類審査（修士論文及び最近の原著論文・研究計画書等），外国語試験又は小論文（経済学研究科，国際文化研究科），小論文（福祉社会学研究科），面接試験により総合的に判定します。

※修士論文の内容と博士後期課程の専攻希望領域が異なる志願者については，博士後期課程の専攻内容に関する論文試験を課す場合があります。
※外国語試験については，当該外国語の辞書1冊持込可。ただし，和英辞典（他の外国語についてはそれに準ずるもの），電子辞書等を除く。

試験日については，P15の入試日程で確認してください。

経済学研究科 地域経済政策専攻

時　間	科 目	備　　考
9：40～ 10：50	外国語 又は 小論文	・外国語(英語) ・小論文(日本語 1,600字程度) のどちらか選択
筆記試験 終 了 後	面　接	口　　述 (日本語能力の 審査を含む)

福祉社会学研究科 社会福祉学専攻

時　間	科 目	備　　考
9：40～ 10：50	小論文	小論文(日本語 1,600字程度)
筆記試験 終 了 後	面　接	口　　述 (日本語能力の 審査を含む)

国際文化研究科 国際文化専攻

時　間	科 目	備　　考
9：40～ 10：50	外国語 又は 小論文	・外国語(英語，フランス語，中国語から1科目選択**【母語を除く】**) ・小論文(日本語 1,600字程度) のどちらか選択
筆記試験 終 了 後	面　接	口　　述 (日本語能力の 審査を含む)

博士後期課程入学試験出願手続・合格発表・入学手続

1．出願手続

（1）出願方法

①出願は所定の出願用封筒を用い，書留速達扱いの郵送又は直接持参によって行ってください。

②窓口受付は日曜日・祝日を除き，9:00～16:30までとします。（ただし，土曜日は9:00～12:00まで）

（2）出願上の留意事項

①出願書類の記入事項及び書類などに不備がある場合は受け付けません。

②出願書類受理後は，いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。また，入学検定料の払い戻し及び出願書類の返却はできません。ただし，出願後に住所変更などが生じた場合は，直ちに連絡してください。

（3）出願書類提出先

〒891－0197　鹿児島県鹿児島市坂之上8－34－1
鹿児島国際大学　入試・広報課　電話（099）261－3211（代）

2．出願書類

提出書類＼入試区分	一　般	社会人	外国人留学生	備　　考
志願票	○	○	○	所定の用紙（様式A）に本人が記入してください。
入学検定料・写真票・受験票	○	○	○	**30,000円（銀行振込）「電信扱」** 入学検定料は，本学所定の入学志願書の（B）～（F）票に必要事項を記入のうえ，振込用紙を切り離さずに銀行窓口へ出してください。 振り込みの後，入学志願書の（B）～（D）・（F）票を受け取り，（C）及び（D）票に取扱銀行収納印があるかどうか確認してください。なお，**取扱銀行収納印のないものは受け付けません。**また，一度振り込んだ入学検定料はお返しできません。（F）票は，大切に保管してください。
志願者調書	○	○	○	所定の用紙（様式G）に本人が記入してください。
修了証明書又は修了見込証明書など	○	○	○	出身大学等発行の**原本**を提出してください。（※中国の大学等を卒業の場合は，**公正証書**を添付）なお，各入試区分の出願資格（2）の者は，学校教育法第104条第7項の規定による学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出してください。
学業成績証明書	○	○	○	出身大学等発行の**原本**を提出してください。
受験票返送用封筒	○	○	○	所定の受験票返送用封筒に，受験票返送先の郵便番号・住所・氏名を明記し，切手（404円分）を貼ってください。**（簡易書留）**
研究計画書	○	○	○	所定の用紙（様式H）に本人が記入してください。
推薦書	（任意）	①	（任意）	①企業又は団体からの派遣者のみ，所定の用紙（様式I）への記入を企業又は団体の長に依頼してください。**（厳封で提出）**
スコアシート又は資格を証明する書類	②			②外国語試験免除希望者のみ提出してください。 **（スコア又は資格についてはP16参照）**
修士論文	○	○	○	修士論文又はその写し，あるいはこれに代わる学術論文を提出してください。
修士論文の要約文	○	○	○	修士論文，あるいはこれに代わる学術論文の要約文（様式J）を提出してください。**（2,000字程度）**
最近の原著論文		③	③	③最近の原著論文がある方のみ提出してください。**（写し可）**
最近の原著論文の要約文		④	④	④最近の原著論文がある方のみ要約文（様式J）を提出してください。**（2,000字程度）**
日本語能力を証明する書類			○	「**日本語能力認定書**（所定の用紙（様式K））」又は「**日本語能力試験（N1〈旧1級〉）の成績証明書の原本**」を提出してください。
住民票			⑤	**外国国籍を有する日本在住の方のみ**，市区町村長の発行した**原本**を提出してください。**（在留資格，期間の記載されたもの）**
身元保証書			○	所定の用紙（様式L）により提出してください。
在職証明書		⑥		⑥企業又は団体からの派遣者のみ，所属機関の発行した**原本**を提出してください。
同一学園設置校の卒業証明書	⑦	⑦	⑦	⑦鹿児島国際大学大学院博士前期課程（修士課程）修了者以外の，同一学園（鹿児島高等学校，鹿児島修学館高等学校，鹿児島国際大学短期大学部，鹿児島国際大学）卒業者のみ出身校発行の**原本**を提出してください。

※出願書類はすべて**日本語で作成**してください。また，日本語及び英語以外の言語で作成された書類には，**日本語訳又は英語訳を添付**してください。

3．合格発表

本人に合否を郵便で通知します。

合格者には合格通知書と入学に必要な書類を郵送します。

なお，合否に関する電話・郵便などの問い合わせには一切応じません。

合格発表日については，P15の入試日程で確認してください。

4．入学手続

入学手続（入学手続関係書類）の詳細については，合格通知書送付の際に通知します。

入学手続期間については，P15の入試日程で確認してください。

（1）納入金

P22～23参照。

（2）奨学金及び援助金

①入学者（日本人学生対象）は，入学後，本人の申請により選考のうえ，独立行政法人日本学生支援機構などから奨学金が貸与される制度があります。

②私費外国人留学生は，入学後，本人の申請により選考のうえ，授業料の30％を減免する私費外国人留学生授業料減免制度があります。

③入学者は，入学後，本人の申請により選考のうえ，鹿児島国際大学同窓会奨学財団から奨学金などが貸与される制度があります。

（3）外国人留学生学習奨励費

入学後，本人の申請により選考のうえ，独立行政法人日本学生支援機構が学習奨励費を給付する制度があります。

入学手続完了後，指定の期日までに入学辞退を申し出，所定の手続を行った場合は，入学金を除く入学手続時納入金（授業料・教育充実費・委託徴収費）を返還します。

2023（令和５）年度秋季（10月）入学大学院学費等納入金（博士後期課程）

【経済学研究科・福祉社会学研究科・国際文化研究科】

入学手続時納入金　　**【納入期限：入学手続締切日】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士後期課程 国際文化研究科　博士後期課程			福祉社会学研究科　博士後期課程		
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者
学費	入学金	※77,500	※▲	※155,000	※77,500	※▲	※155,000
	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	小計	220,000	142,500	297,500	220,000	142,500	297,500
委託徴収費	学友会 入会金	※1,000		※1,000	※1,000		※1,000
	学友会 会費	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	同窓会入会金	※（注）④		※18,000	※（注）④		※18,000
	学生教育研究災害傷害保険料	※2,600	※2,600	※2,600	※2,600	※2,600	※2,600
	学生教育研究賠償責任保険料	※1,020	※1,020	※1,020	※1,020	※1,020	※1,020
	社会福祉学会費				※7,500	※7,500	※7,500
	小計	7,120	6,120	25,120	14,620	13,620	32,620
合計		227,120	148,620	322,620	234,620	156,120	330,120

第Ⅱ期納入金　　**【納入期限：2023（令和５）年12月25日（月）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士後期課程 国際文化研究科　博士後期課程			福祉社会学研究科　博士後期課程		
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
合計		142,500	142,500	142,500	142,500	142,500	142,500

第Ⅲ期納入金　　**【納入期限：2024（令和６）年４月15日（月）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士後期課程 国際文化研究科　博士後期課程			福祉社会学研究科　博士後期課程		
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
委託徴収費	学友会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
合計		147,500	147,500	147,500	147,500	147,500	147,500

第Ⅳ期納入金　　**【納入期限：2024（令和６）年６月25日（火）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士後期課程 国際文化研究科　博士後期課程			福祉社会学研究科　博士後期課程		
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
合計		142,500	142,500	142,500	142,500	142,500	142,500

年間納入金額　　単位：円

合計	659,620	581,120	755,120	667,120	588,620	762,620

（注）①※印は初年度のみ必要です。
②▲印は本学大学院博士前期課程（修士課程）を修了し，同研究科の博士後期課程に進学する者は不要ですが，本学大学院博士前期課程（修士課程）を修了し，他研究科の博士後期課程に進学する者は77,500円の入学金が加算されます。
③委託徴収費は入学手続期間内に納入してください。
④同窓会入会金（18,000円）については，本学学部卒業者は納入の必要はありません。（同一学園卒業者は必要）
⑤学友会費　年額5,000円（ただし，秋季入学者は入学年・修了年は2,500円ずつ徴収）

2024（令和６）年度春季（４月）入学大学院学費等納入金（博士後期課程）

【経済学研究科・福祉社会学研究科・国際文化研究科】

入学手続時納入金　　**【納入期限：入学手続締切日】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士後期課程 国際文化研究科　博士後期課程			福祉社会学研究科　博士後期課程		
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者
学費	入学金	※77,500	※▲	※155,000	※77,500	※▲	※155,000
	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	小計	220,000	142,500	297,500	220,000	142,500	297,500
委託徴収費	学友会 入会金	※1,000		※1,000	※1,000		※1,000
	学友会 会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	同窓会入会金	※（注）④		※18,000	※（注）④		※18,000
	学生教育研究災害傷害保険料	※2,600	※2,600	※2,600	※2,600	※2,600	※2,600
	学生教育研究賠償責任保険料	※1,020	※1,020	※1,020	※1,020	※1,020	※1,020
	社会福祉学会費				※7,500	※7,500	※7,500
	小計	9,620	8,620	27,620	17,120	16,120	35,120
合計		229,620	151,120	325,120	237,120	158,620	332,620

第Ⅱ期納入金　　**【納入期限：2024（令和６）年６月25日（火）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士後期課程 国際文化研究科　博士後期課程			福祉社会学研究科　博士後期課程		
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
合計		142,500	142,500	142,500	142,500	142,500	142,500

第Ⅲ期納入金　　**【納入期限：2024（令和６）年10月15日（火）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士後期課程 国際文化研究科　博士後期課程			福祉社会学研究科　博士後期課程		
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
合計		142,500	142,500	142,500	142,500	142,500	142,500

第Ⅳ期納入金　　**【納入期限：2024（令和６）年12月25日（水）】**　　単位：円

費目		経済学研究科　博士後期課程 国際文化研究科　博士後期課程			福祉社会学研究科　博士後期課程		
		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者	本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 （修士課程）修了者	本学以外の卒業者
学費	授業料	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500	117,500
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
合計		142,500	142,500	142,500	142,500	142,500	142,500

年間納入金額　　単位：円

合計	657,120	578,620	752,620	664,620	586,120	760,120

（注）①※印は初年度のみ必要です。
②▲印は本学大学院博士前期課程（修士課程）を修了し，同研究科の博士後期課程に進学する者は不要ですが，本学大学院博士前期課程（修士課程）を修了し，他研究科の博士後期課程に進学する者は77,500円の入学金が加算されます。
③委託徴収費は入学手続期間内に納入してください。
④同窓会入会金（18,000円）については，本学学部卒業者は納入の必要はありません。（同一学園卒業者は必要）
⑤学友会費　年額5,000円

経済学研究科／地域経済政策専攻　博士後期課程授業科目一覧

（令和５年度現行）

区分	授　業　科　目　名	配当年次
特殊研究科目	応用経済学（ミクロ・マクロ）特殊研究	1･2･3
	国際金融特殊研究	1･2･3
	国際経済特殊研究	1･2･3
	金融経済特殊研究	1･2･3
	財政特殊研究	1･2･3
	地域経済特殊研究	1･2･3
	欧米経済特殊研究	1･2･3
	マーケティング特殊研究	1･2･3
	会計特殊研究	1･2･3
	会計監査特殊研究	1･2･3
	税務会計特殊研究	1･2･3
	経営管理特殊研究	1･2･3
	経営戦略特殊研究	1･2･3
	経営科学特殊研究	1･2･3
	産業経営特殊研究	1･2･3
	観光経営特殊研究	1･2･3
	観光マネジメント特殊研究	1･2･3
	ワークショップ(国際経済経営)	1･2･3
研究指導科目	応用経済学（ミクロ・マクロ）特殊研究演習	1～3
	国際経済特殊研究演習	1～3
	金融経済特殊研究演習	1～3
	財政特殊研究演習	1～3
	地域経済特殊研究演習	1～3
	欧米経済特殊研究演習	1～3
	マーケティング特殊研究演習	1～3
	会計特殊研究演習	1～3
	会計監査特殊研究演習	1～3
	税務会計特殊研究演習	1～3
	経営管理特殊研究演習	1～3
	経営科学特殊研究演習	1～3
	産業経営特殊研究演習	1～3

※　研究指導科目欄より，入学後，論文指導を希望する科目を選択し，その教員名を志願票内の希望研究指導教員欄に記入してください。（第1志望，第2志望）

なお，経済学研究科専任教員の担当授業科目名・研究テーマ・主な研究要旨については，P27～P33を参照してください。

福祉社会学研究科／社会福祉学専攻　博士後期課程授業科目一覧

（令和５年度現行）

区分	授　業　科　目　名	配当年次
特殊講義科目	社会保障特殊講義	1・2・3
	高齢者福祉特殊講義	1・2・3
	障害者福祉特殊講義	1・2・3
	精神医学特殊講義	1・2・3
	精神保健福祉特殊講義	1・2・3
	生涯教育特殊講義	1・2・3
	職業教育特殊講義	1・2・3
	保健福祉特殊講義	1・2・3
	地域リハビリテーション特殊講義	1・2・3
	介護福祉特殊講義	1・2・3
	地域福祉特殊講義	1・2・3
	社会病理特殊講義	1・2・3
	ソーシャルワーク特殊講義	1・2・3
	児童家庭福祉特殊講義	1・2・3
	社会福祉リサーチ特殊講義	1・2・3
演習科目	特別研究（博士論文指導）	1 ～ 3

※　入学後，論文指導を希望する教員名を志願票内の希望研究指導教員欄に記入してください。（第1志望，第2志望）

　なお，福祉社会学研究科専任教員の担当授業科目名・研究テーマ・主な研究要旨については，P34～P38を参照してください。

国際文化研究科／国際文化専攻　博士後期課程授業科目一覧

（令和５年度現行）

区分	授　業　科　目　名	配当年次
特殊研究科目	英語教育法特殊研究	1･2･3
	対照言語学特殊研究	1･2･3
	欧米語学特殊研究Ⅰ（英文学）	1･2･3
	欧米語学特殊研究Ⅱ（南ヨーロッパ比較言語学論）	1･2･3
	欧米語学特殊研究Ⅲ（米文学）	1･2･3
	近・現代ヨーロッパ表象文化特殊研究	1･2･3
	音楽学特殊研究	1･2･3
	作曲法特殊研究	1･2･3
	日本古典文学特殊研究	1･2･3
	日本史特殊研究	1･2･3
	韓国・朝鮮史特殊研究	1･2･3
	比較考古学特殊研究	1･2･3
	情報・理論考古学特殊研究	1･2･3
実習	欧米文化研修	1･2･3
	国際インターンシップ	1･2･3
演習	国際文化研究指導	１～３

※　入学後，論文指導を希望する教員名を志願票内の希望研究指導教員欄に記入してください。（第1志望，第2志望）

　なお，国際文化研究科専任教員の担当授業科目名・研究テーマ・主な研究要旨については，P39～P46を参照してください。

第３章

大学院専任教員一覧
授業科目・研究テーマ・研究要旨

（令和５年度現行）

■希望研究指導教員について

志願票の希望研究指導教員の欄には，表左上の志願する課程の演習担当に〇のある教員より記入してください。
担当教員については必ず出願前にお問い合わせのうえ，ご確認ください。

修士演習	博士演習
○	―

博士前期課程（修士課程）のみ担当

修士演習	博士演習
○	○

博士前期課程（修士課程）・博士後期課程ともに担当

修士演習	博士演習
―	―

いずれも担当なし

※ 教員一覧は令和５年４月現在で作成しています。よって，内容が変更になる場合があります。

授業科目・研究テーマ・研究要旨
【経済学研究科】

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	青　木　康　一 （経済学研究科長）	教授	監査報告書に関する研究	修士（商学） 福岡大学
授業担当科目	〈M〉会計監査，会計監査演習Ⅰ・Ⅱ 〈D〉会計監査特殊研究，会計監査特殊研究演習				
研究要旨	監査報告書は，監査人が監査結果を財務諸表利用者にメッセージとして伝える手段である。メッセージとして提供する場合，そのメッセージは適切であり，その意味内容が財務諸表利用者相互間で同様に理解されねばならない。このメッセージを適確に伝達する方法およびそこに込められる意味内容を研究対象としている。				
主要研究業績等	・『基本簿記原理』（共著，中央経済社，2020年） ・『簿記入門テキスト（第２版）』（共著，中央経済社，2017年） ・「標準式監査報告書の性質についての再検討～国際監査基準と我が国の監査基準に基づいて～」（『鹿児島経済論集』51(4)，395-424，2011年） ・「商業高等学校での今後の商業教育を模索して～江戸期の商人教育に見る道徳教育～」（『鹿児島経済論集』51(4)，573-588，2011年） ・「適正性に関する考察」（『JICPAジャーナル』13(8)，44-45，2001年） ・「監査報告書における適正概念に関する一考察－SAS No.82を中心として－」（『鹿児島経済論集』42(4)，445-459，1998年）				

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	池　田　亮　一	准教授	税制・社会保障と雇用・失業・人口 産業連関分析と地域経済	博士（応用経済学） 大阪大学
授業担当科目	〈M〉財政，財政演習Ⅰ・Ⅱ 〈D〉財政特殊研究，財政特殊研究演習				
研究要旨	今まで財政・社会保障の分析においては，完全雇用を仮定した分析が多かった。しかし，税制や社会保障制度は，雇用（失業）と密接にかかわりを持つのではないか。そういった問題意識から，財政制度・社会保障制度（今までのテーマでは出生率）と失業に関する理論的分析を行ってきた。また消費税と摩擦的失業に関する分析も行っている。産業連関分析を用いた，地域経済論の分析，特に地域の基幹産業の分析についても行う。 教育・人的資本蓄積への政府の介入と経済成長についての分析も行っている。今後は理論・シミュレーション分析，産業連関分析のほか，制度論のほうにも，もっと目配せしようと考えている。				
主要研究業績等	【公刊論文】 「鹿児島市の基幹産業」『地域総合研究』第50巻第２号(2023) 「奄美市の基幹産業の把握」『地域総合研究』第49巻第1号(2021) 「年金の消費税方式化と構造的失業」『鹿児島国際大学大学院学術論集』第12集(2020) 「Unemployment and education in an overlapping-generations economic growth model」『鹿児島経済論集』第61巻第１号(2020) 「税制改正と摩擦的失業」『日本経済研究』No. 76(2018) 「失業給付と子ども数」『社会保障研究』Vol. 1, No. 3(2016) 「育児支援は子ども数を増やすか？失業を考慮したアプローチ」『季刊社会保障研究』Vol 48, No. 2(2012) 【博士論文】 『社会保障政策の再検討－失業を考慮した分析－』(2014)大阪大学大学院経済学研究科に提出				

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	磯　山　啓　明	講師	金融市場のアノマリーの分析	博士（経済学） 上智大学

授業担当科目	〈M〉金融経済，金融経済演習Ⅰ・Ⅱ
研究要旨	ファイナンス理論を現実の資本市場に適用した場合，いくつかの問題が提起されることがある。情報は瞬時にかつ完全に株価に反映されるとする効率的市場仮説（Efficient Market Hypothesis）に反する現象，特に会計情報に関するアノマリーを分析の対象としている。分析から制度を設計する上での示唆を得ることを目指している。
主要研究業績等	・「J-REITのリスク要因の分析－補正関数による東日本大震災の影響分析－」（共著，『都市住宅学』，No. 93，pp. 211～220.） ・「J-REITの価格割り当て誤差に関する分析－補正関数によるリスク要因分析－」（共著，『経営財務研究』，No. 36，pp. 16～46.） ・「国土交通分野における女性活躍推進策と生産性向上に関する調査研究」（共著，『PRI Review』，No. 63，pp. 10～33.）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	稲　村　由　美	教授	財務制限条項の設定が 企業行動に及ぼす影響	博士（経営学） 神戸大学

授業担当科目	〈M〉会計，会計演習Ⅰ，会計演習Ⅱ
研究要旨	企業の財務情報を計量経済学の手法に基づいて分析し，企業行動を明らかにする実証会計学を研究分野としている。具体的には，借入時に債権者が設定する様々な条件（金利や財務制限条項）が企業の利益調整行動に及ぼす影響を研究している。
主要研究業績等	・稲村由美（2022）「社債の発行条件における財務上の特約の利用と役割」『新潟大学経済論集』第113号，103-125頁. ・稲村由美（2020）「財務上の特約と社債管理会社によるモニタリングに関する考察：経営者の裁量行動に及ぼす影響からの検討」『産業經理』第80巻第1号，169-178頁. ・稲村由美（2019）「財務制限条項と銀行のモニタリングに関する考察：経営者の裁量行動に及ぼす影響からの検討」『新潟大学経済論集』第107号，57-83頁. ・稲村由美（2019）「財務制限条項に係るモニタリングと経営者の実体的裁量行動」『國民經濟雜誌』第219巻第3号，1-16頁. ・Yumi Inamura. Syn'yaOkuda. 2017. "Deferred taxes and cost of debt: evidence of Japan" *Asia-Pacific Journal of Accounting & Economics* 24, Issues 3-4, pp. 358-376.

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
―	―	今　村　明　代	教授	創業者一族の経営とコーポレート・ ガバナンスに関する研究	博士（経営学） 筑波大学

授業担当科目	〈M〉税務会計 〈D〉税務会計特殊研究
研究要旨	創業者一族の経営関与に着目し，創業者やその一族が経営に関与する企業と，それ以外の企業について，企業の経営成績，財政状態にどのような差異が生じるか分析を行なっている。わが国の法人企業の95%が同族企業であることを考慮すると，創業者一族が経営に関与する企業の存在は決して小さくない。取引先その他企業を取り巻くすべての利害関係者に有用な情報を提供しうる研究を継続していきたい。
主要研究業績等	・「Robert N. Anthonyの持分利子を課税所得計算上認識する可能性」（単著，『鹿児島経済論集』60(4)，523-554，2020年） ・「中小企業の持続可能な経営」（共著，『商工金融』11月号，21-37，2018年） ・『創業者一族の経営とコーポレート・ガバナンス』（単著，中央経済社，2017年）（日本リスクマネジメント学会・優秀著作賞受賞） ・『租税法入門（上巻）：法人税法・消費税法編〔第2版〕』（共著，中央経済社，2016年） ・「企業危機突破における役員構成のあり方に関する研究」（単著，『危険と管理』46，89-107，2015年） ・『租税法入門（下巻）：所得税法・相続税法編』（共著，中央経済社，2014年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	大久保　幸　夫	教授	統計科学，経営情報	博士（理学） 千葉大学

授業担当科目	〈M〉経営情報，経営情報演習Ⅰ・Ⅱ
研究要旨	地域の様々な情報を多変量解析，テキストマイニングなどの手法を使ってコンピュータで分析し，地域課題の解決に役立てることが目的である。具体的には，商店街や中山間地域でアンケート調査などを行い，得られたデータを分析して，現状の把握と課題解決に向けた方策を探っている。 一方，計算統計学の分野において，一様分布，ベンフォードの法則，モンテカルロ法等，に関する理論的な研究も行っている。
主要研究業績等	・「Distribution of leading digits of imaginary parts of Riemann zeta zeroes」（共著，『Uniform Distribution Theory』17(2)，161-164，2022） ・「Distribution of leading digits of numbers Ⅱ」（共著『Uniform Distribution Theory』14(1)，19-41，2019年） ・「大型小売店の開業に伴う地域商業への影響－姶良市商工業者景況調査から－」（『地域総合研究』46(1)，35-48，2018年） ・「地域に根ざした商店街についての一考察～鹿児島市慈眼寺商店街の活性化～」（『地域総合研究』45(2)，1-20，2018年） ・「中山間地域住民の地域住民の地域に関するイメージ分析－鹿児島県いちき串木野市羽島地区を事例として－」（『地域総合研究』45(1)，1-17，2017年） ・「Distribution of leading digits of numbers」（共著『Uniform Distribution Theory』11(1)，23-45，2016年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	加　藤　一　弘	教授	イギリス石炭鉱業史	修士（経済学） 京都大学

授業担当科目	〈M〉経済史，ワークショップⅠ（経済のグローバル化），経済史演習Ⅰ・Ⅱ，経営史 〈D〉経営管理特殊研究，経営管理特殊研究演習
研究要旨	イギリス近代石炭鉱業の歴史的展開過程を，労使関係を中心に研究している。多様で複雑な石炭鉱業の事実を掘り起こすことで，近代の経済社会の発展過程に，新しい光を当てることを目指している。そのため，研究はひとつひとつの地域に対象を絞って行っている。現在は，18世紀のスコットランド炭鉱業について，ひとつの地主所領の文書史料『ロッセス文書』）の中で，所領経営と炭坑経営との絡み合いの実相を追跡している。
主要研究業績等	・「ロッセス伯爵領における炭坑夫たち：1751年4月20日～1752年8月22日」（単著，『鹿児島経済論集』54(1-4)，2014，61～96） ・「18世紀中央ファイフにおける炭坑労働編制」（単著，『鹿児島経済論集』51(1)，2010，29～50） ・「18世紀中央ファイフにおける石炭鉱業の成長と地域住民たち」『鹿児島経済論集』第48巻 第1-4号合併号 2008年3月，77～98 ・「18世紀末から19世紀にかけてのスコットランド石炭鉱業における資本関係の展開」（単著，『鹿児島経済論集』44(4)，2004年，267～296 ・「産業革命期イギリス石炭鉱業における坑夫包摂の諸契機」（共著，経済史研究会編『欧米資本主義の史的展開』1996年，31～53）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	カムチャイ ライサミ	教授	国際経済の研究	修士（経済学） 京都大学

授業担当科目	〈M〉国際経済，国際経済演習Ⅰ・Ⅱ 〈D〉国際経済特殊研究
研究要旨	国際経済は今過渡期にある。グローバル化の進展により，諸国民経済の連携がますます深まる一方，いろんな新しい経済問題も露呈する。保護貿易への回帰やグローバル通貨・金融危機などがそれである。これらの問題は，日本経済に多大な影響を及ぼし，国際経済の行方を大きく左右するものと思われる。激動期の国際経済を研究テーマとする。
主要研究業績等	・「ASEANの活力　日本に生かせ～経済共同体発足でビジネスチャンス拡大」（単著，『国際開発ジャーナル』No.708，6，2015年） ・「タイの経済戦略および中日とのFTA」（単著，『国際文化学部論集』5(4)，9-21，2005年） ・「日本経済衰退の論理」（単著，『国際文化学部論集』6(1)，23-37，2005年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	康　上　賢　淑	教授	銘柄ブランド，産業経営（AI等）企業経営，経営管理，国際経営，電子商取引，流通経済論，観光経営の研究	博士（経済学） 名古屋大学

授業担当科目	〈M〉国際経営，産業経営，経営管理特講，産業経営演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 〈D〉産業経営特殊研究，産業経営特殊研究演習
研究要旨	産業（AI等）と企業経営・ブランドマネジメントを研究している。2011年9月からイギリスでの一年間研究生活を通じて国際経営，国際マーケティング，流通経済にまで研究範囲を広げている。2015年からはワンアジア財団の寄付講座を取得し，これから続けて本大学で世界的に有名な専門家を招聘して講演を行う。2016年には『グローバル地域研究会』を設立し，主に大学院生のグローバル視野を広げ，SDGsと連動したビジネスセンス，豊かな教養を高め，様々な分野で経済における仕事が担える人材育成を目指している。
主要研究業績等	・「東アジアの代表的な磁器ブランドのひとつ：薩摩焼」（于文傑・沈壽官15代と共著『シルクロード文化研究』商務印書館，南京大学中華文化研究院・中国天楹文化研究院編，2020年） ・『グローバル地域研究』南方新社，（李光貞と共編，2020年） ・「鹿児島における中小企業のデザインマネジメント」（袁俊と共著，『東アジアの観光・消費者・企業』五絃舎，2020年） ・「ビックデータ技術と中国食材商業界の品質管理」（高京博と共著，『東アジアの観光・消費者・企業』五絃舎，2019年） ・『東アジアの繊維・アパレル産業研究』日本僑報社（単著，2016年） ・「資源確保と技術協力の間－日中レアアース交流会議の開催をめぐって－」（黄孝春，田中彰と共著，『人文社会論叢』社会科学篇，第32号，pp.45-65，2014年） ・「ブランド実践進化の道標」（胡左浩等と共著，『鹿児島経済論集』第51巻第2・3号，pp.1-22，2010年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	中　島　　昇	教授	英米契約法の錯誤に関する研究	修士（法学） 亜細亜大学

授業担当科目	〈M〉民法，民法演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
研究要旨	契約締結にあたり錯誤に陥っていた場合の契約取消要件について研究している。現在はイギリスにおける錯誤ケースの対処方法，特に錯誤リスクの配分方法を調べ，日本民法の錯誤規定解釈に利用できそうな法準則を抽出することに精力を注いでいる。法制度が大きく異なる国であっても「錯誤」そのものは共通だと考えるからである。と同時に，錯誤との関りが深い分野の錯誤事例を研究対象とすることで，錯誤取消しの限界も探っている。
主要研究業績等	・「租税負担の錯誤と改正錯誤法－平成21年７月16日岡山地裁判決を参考にして」（単著，『鹿児島経済論集』58(2-4)，111-119，2018） ・「受託者の錯誤に対する救済と租税回避－イギリス最高裁判例を参考に」（単著，『鹿児島経済論集』58(1)，27-63，2017） ・「イギリス信託法上のHastings-Bass原則に関するPitt ｖ Holt事件控訴院判決－税の錯誤」（単著，『鹿児島経済論集』53(1-4)，49-64，2013） ・「イギリス契約法の共通錯誤－黙示的条項論－」単著，『鹿児島経済論集』51(1)，51-82，2010） ・「錯誤リスク引受けの検討－アメリカ原状回復法リステイトメントを参考に」小林一俊博士古希記念論文集『財産法諸問題の考察』（単著，酒井書店，201-217，2004）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	中　西　孝　平	准教授	地方私立大学における起業家教育のあり方に関する研究	博士（商学） 同志社大学

授業担当科目	〈M〉中小企業経営，中小企業経営演習Ⅰ・Ⅱ，インターンシップ
研究要旨	地方私立大学における起業家教育のあり方について，ナッジとの関係において研究している。また，起業家の生誕から現在に至るまでのストーリーを収集している。
主要研究業績等	・パーソナルファイナンス学会・研究奨励賞受賞，2017年 ・「起業家教育とナッジ」（『鹿児島経済論集』63(3)，199-219，2022年） ・「制約克服の経営者史：女性起業家のために」（『鹿児島経済論集』62(1)，13-36，2021年） ・「無職障害者の経営ノウハウ習得過程：一人の障害者が経営者になるまで」（『鹿児島経済論集』61(1)，23-46，2020年） ・「地方私立大学における起業家教育の再検討」（『地域総合研究』47(2)，25-38，2020年） ・「豚ぷんバイオマス発電の促進と協同組合」（『地域総合研究』47(1)，35-49，2019年） ・「鹿児島県経済の課題と起業家育成プログラム」（『地域総合研究』46(2)，39-54，2019年） ・「鹿児島県経済の課題と焼酎産業」（『地域総合研究』45(1)，61-69，2017年） ・「障害者の創業と生活福祉資金貸付制度」（『パーソナルファイナンス研究』4(0)，29-46，2016年） ・「障害者の就業支援と無職女性の地域就業」（『四国大学紀要：人文・社会科学編』(46)，45-59，2016年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	西　　宏　樹	准教授	価値共創マーケティングに関する研究	修士（流通科学） 中村学園大学

授業担当科目	〈M〉マーケティング，マーケティング演習Ⅰ・Ⅱ 〈D〉マーケティング特殊研究，マーケティング特殊研究演習
研究要旨	北米のService-Dominant Logicや北欧のService Logicを基に，企業・消費者間関係の価値共創および消費者判断の文脈価値について考察している。従来の伝統的マーケティングと価値共創マーケティングの理論的な差異，価値共創マーケティングを実践する先進的企業，価値共創概念および文脈価値概念の構成要素などに関心を抱いている。経済のサービス化やサービス社会と呼ばれる現代に寄与しうるマーケティングについて，今後も理論的かつ探索的に研究していきたい。
主要研究業績等	・「消費者のグロース消費に関する研究－AI搭載型ロボットPalmiの事例－」（単著，『日本産業科学学会研究論叢』第26号，pp.81-87，2021年） ・『サービス社会のマネジメント』（共著，同文館出版，2018年） ・「コナミスポーツクラブにおける価値共創－アクションサッカーを中心に－」（単著，『日本産業科学学会研究論叢』第22号，pp.43～48，2017年） ・『ケースブック価値共創とマーケティング論』（共著，同文館出版，2016年） ・「価値共創マーケティング研究における消費者の文脈と価値－Jリーグ観戦者の事例」（単著，『日本産業科学学会研究論叢』第27号，pp. 85-91，2022年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	西　原　誠　司	教授	グローバル化と欧米の政治・経済システム－「人種」・民族・宗教・国家をこえる新しい共同体は可能か	博士（経済学） 立命館大学

授業担当科目	〈M〉欧米経済，欧米経済演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 〈D〉欧米経済特殊研究，欧米経済特殊研究演習，地域経済特殊研究，地域経済特殊研究演習
研究要旨	ベルリンの壁崩壊と米ソ冷戦体制の崩壊によって戦争なき世界の到来が期待されたが，現実は，民族紛争の多発，同時多発テロ，難民問題の発生とその期待を大きく裏切ることになった。では，その解決の糸口はどこにあるのか。このことを，グローバル化する世界経済との関連で考えていく。というのは，グローバル企業は，その安定的な経済活動のために平和を求めるからである。
主要研究業績等	・『グローバライゼーションと民族・国家を超える共同体』（文理閣，2021.12） ・「EU加盟をめざすモダンイスラム・トルコの挑戦と苦悩－EUは民族・国家・宗教を超える新しい「価値の共同体」となれるか－」共著 朝日吉太郎編著『欧州グローバル化の新ステージ』文理閣（2015） ・「金融危機下のヨーロッパ－EU統合とグローバリズムのはざまで」単著（『唯物論と現代』44号 2010年6月） ・「EU50年の歴史と到達点－ヨーロッパ型資本主義と「社会的市場経済」の未来」単著（『経済』2008年12月号） ・「ヨーロッパ資本主義の現段階とEUの形成－平和なヨーロッパをめざす『古い欧州』の新しい実験」単著 平成18（2006）年3月（日本の科学者（通巻458号）Vol.41 No.3） ・「ユーロと新たな国際的地域経済ブロックのEUの形成－新しい国際通貨「ユーロ」の誕生とその政治・経済的諸条件－」単著 平成17（2005）年2月（立命館経済学第53巻第5・6号）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	－	日　野　一　成	特任教授	不法行為法と責任保険 保険論（モラルリスク）	博士（法学） 神戸大学

授業担当科目	〈M〉保険経済，保険経済演習Ⅰ・Ⅱ
研究要旨	これまで，自賠法における被害者保護法制上の問題を中心に，問題を分析し，その問題解決策について研究してきた。また，保険論，とりわけモラルリスク及び不正請求事案に対して，その看破手法，立証責任の分配，故意立証レベル等について研究してきた。今後は，モラルリスクを中心に研究を特化し，犯罪学等の知見や実際のモラルリスク調査等の実践も通じて，研究を深厚していきたいと考えている。
主要研究業績等	・火災保険における被保険者関与の放火の推認（鹿児島経済論集第60巻第4号，2020年3月） ・「時価賠償の法理と愛護動物への射程」（『鹿児島経済論集』第59巻第３号4号合併号，2019年3月） ・「対人・対物賠償責任保険の事故の偶然性の立証責任」（『鹿児島経済論集』第59巻第2号，2018年12月） ・「（超低速度衝突）むち打ち損傷受傷疑義事案に対する一考察－工学的知見に対する再評価として－」（『損害保険研究』第79巻第１号，2017年5月） ・『自賠法における被害者保護法制上の諸問題について－交通事故被害者救済法の観点からの一考察－』（丸善雄松堂，2016年5月） ・「何故，裁判所は支払基準に拘束されないのか－自賠責支払基準下回り判決問題に対する一考察－」（損害保険研究第75巻第1号，2013年5月）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	平　出　宜　勝	講師	国際貿易に関する研究	博士（経済学） カンザス州立大学

授業担当科目	〈M〉経済理論，経済理論演習Ⅰ・Ⅱ
研究要旨	国際貿易論の中でも海外直接投資と特恵貿易協定について実証的な研究を行っている。具体的には(1)海外直接投資がどのような影響を労働市場に与えるか，(2)特恵貿易協定が垂直・水平・輸出プラットフォーム型といった３つのタイプの海外直接投資の流入に対しどのような影響を与えるかの研究を行っている。今後は特恵貿易協定締結により締結国の財・サービスの需要がどのように変化するかについての研究も行う予定である。
主要研究業績等	【公刊論文】 ・「全国および鹿児島県における酒類需要の計量分析」『地域総合研究』第50巻第２号（2023） ・「The importance of heterogeneity in determining the effects of preferential trade agreements on Foreign Direct Investment」（共著，『World Economy』43(12)，3262-3295，2020年） ・「Surviving the Global Recession and the Demand for Auto Industry in The U.S. - A Case for Ford Motor Company」（共著，『International Journal of Economics and Finance』4(5)，85-93，2012年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	槇　　満　信	教授	理論と政策とのかかわりについての研究	博士（学術） 東京大学

授業担当科目	〈M〉経済政策，経済政策演習Ⅰ・Ⅱ 〈D〉応用経済学（ミクロ・マクロ）特殊研究，応用経済学（ミクロ・マクロ）特殊研究演習
研究要旨	経済理論と経済政策とがいかなるかかわりにあるかについて，ポスト・ケインズ派や制度派の立場に軸足を置きつつ研究している。 具体的には，均衡経済学への対抗思潮である循環的・累積的因果関係論に着目し，現実経済を考えるに際してこの理論に則ると何が見えるか，また政策はそこからいかにして導かれるかということに関心を抱いている。循環的・累積的因果関係論を現代の経済政策を考えるためのよすがとすることをめざしている。
主要研究業績等	・「社会科学における境界領域科学の誕生」（『鹿児島経済論集』60(3)，2019年） ・「AI技術失業下での働き方をめぐる考察」（『鹿児島経済論集』59(1)，2018年） ・「国民経済のありかたをめぐる考察」（『鹿児島経済論集』57(2-4)，2017年） ・「地方消滅論をめぐる考察」（『鹿児島経済論集』56(1-4)，2016年） ・「日本の医療産業をめぐる考察」（『鹿児島経済論集』55(1-4)，2015年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	松　本　俊　哉	准教授	国際産業の競争と規制	博士（国際関係学） 立命館大学

授業担当科目	〈M〉産業経済，産業経済演習Ⅰ・Ⅱ
研究要旨	国際航空輸送業を対象にして，アメリカ主導による国際レジームの変容過程を政治経済学的アプローチから研究してきた。主要産業において進む規制改革や自由化の動向とその帰結としての国際的な寡占化の進展。他方，グローバリゼーションの一側面をなす国家機能の変容。これら両者の相互作用ならびに重層的な関係を統合的に分析し，解明することに努めている。
主要研究業績等	・「アメリカ航空産業の規制緩和とグローバル化」（豊福裕二編『資本主義の現在－資本蓄積の変容とその社会的影響』文理閣，82-99，2015年） ・「航空サービス業のグローバル化とアジア」（関下稔・板木雅彦・中川涼司編『サービス多国籍企業とアジア－21世紀の推進軸－』ナカニシヤ出版，266-288，2006年） ・「規制緩和の国際政治経済学－電気通信分野を対象にして」（関下稔・中川涼司編『ITの国際政治経済学－交錯する先進国・途上国関係－』晃洋書房，87-104，2005年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	八　木　　正	教授	環境経済論	修士（経済学） 京都大学

授業担当科目	〈M〉環境経済，環境経済演習Ⅰ・Ⅱ
研究要旨	20世紀は，大量生産・大量消費・大量廃棄によって引き起こされてきた公害・環境破壊の世紀だった。とりわけ，開発によって消失しつつある自然環境の保護について，屋久島や奄美・沖縄などの南西諸島を中心に研究している。また，３Ｒによるごみ問題の解決について，ドイツに学びつつ，鹿児島県の市町村を対象に研究している。さらに，自らエコハウスに居住してエネルギーや資源の節約と快適な生活の両立を実践的に研究するとともに，第４の革命とも呼ばれるエネルギー革命，すなわち枯渇性エネルギーから再生可能エネルギーへのダイナミックな変化について研究している。
主要研究業績等	・「ドイツのエネルギーシフトの道のりと今後の展望－脱原発と再エネをめぐる攻防－」（朝日吉太郎編『欧州グローバル化の新ステージ』第8章，文理閣，2015年） ・「日本の再生可能エネルギーの現状と課題」（『鹿児島国際大学短期大学部研究紀要』第87号，2014年） ・「志布志市・大崎町における一般廃棄物リサイクルについて」（『地域総合研究』第41巻第2号，2014年） ・「核燃料サイクルと原子力発電の周辺」（『鹿児島国際大学短期大学部研究紀要』第86号，鹿児島国際大学短期大学部研究紀要編集委員会，2013年） ・「エコハウス建設と環境家計簿」（『鹿児島国際大学短期大学部研究紀要』第84・85合併号，2012年）

授業科目・研究テーマ・研究要旨
【福祉社会学研究科】

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	松　元　泰　英 （福祉社会学研究科長）	教授	①重症心身障害児の粗大運動についての研究 ②重症心身障害児の姿勢についての研究 ③重症心身障害児の摂食嚥下についての研究	博士（医学） 鹿児島大学
授業担当科目	〈M〉健康福祉学特講，特別研究（演習）修士論文指導 〈D〉地域リハビリテーション特殊講義，特別研究（博士論文指導）				
研究要旨	①重症心身障害児の粗大運動の発達はどのような指導で伸ばしていくのがよいか。「機能的アプローチ」を中心に指導した場合の有効性について研究している。 ②姿勢が重症心身障害児の体にどのような影響を与えるのかを研究している。 ③重症心身障害児の安全な摂食指導はどうあればよいのか，直接訓練，間接訓練の両面から研究している。				
主要研究業績等	・『かゆいところに手が届く重度重複障害児教育』（単著，ジアース教育新社，2022年） ・『目からウロコの重度重複障害児教育』（単著，ジアース教育新社，2018年） ・「重度重複障害児へのICTを活用したコミュニケーション指導」（単著，『知的障害特別支援学校のICTを活用した授業づくり』，ジアース教育新社 P108～111，2016年） ・『肢体不自由教育・連携で困らないための医療用語集』（単著，ジアース教育新社，2015年）				
研究領域	重症心身障害児教育				

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	有　村　玲　香	准教授	①障害児福祉・保育 ペアレントトレーニング	博士（社会福祉学） 鹿児島国際大学
授業担当科目	〈M〉保育方法学特講，特別研究（演習）修士論文指導				
研究要旨	身近な場所での専門的な学びとして，「既存の簡略化された行動分析の学習プログラム」を療育関係者の各段階に応じて，行動分析を駆使した対応スキルの向上を目指した研究を行っている。現在は，幼児期・小学校低学年に関わる専門職・専門機関を中心にノーマライゼーションの実現に向けて研修制度・支援体制・支援方法について研究している。				
主要研究業績等	・「保育における発達援助」『単著，保育の心理学－保育の中で捉えるこころのすがたと育ち－』あいり出版（p121-128，2016年） ・「地域における障害のある子どもへの支援－児童家庭福祉と特別支援教育に基づく実践－」こども学研究こども発達臨床センター紀要(9)，鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター（共著pp: 101-109，2017年） ・「子ども家庭福祉領域の心理学的支援〔7〕療育としての心理学的支援」『福祉心理学?基礎から現場における支援まで』（共著，明石書店p164-166，2021年）				
研究領域	障害児福祉，発達支援，ペアレントトレーニング，専門職支援				

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	岩　井　浩　英	教授	①「教育福祉論」の実践的価値に関する研究 ②子ども家庭ソーシャルワーク（学校ソーシャルワークを含む）に関する実践的研究	修士（教育学） 神戸大学

授業担当科目	〈M〉児童福祉学特講，特別研究（演習）修士論文指導 〈D〉児童家庭福祉特殊講義，特別研究（博士論文指導）
研究要旨	①「教育福祉論」とは，家庭・学校生活における子どものウェルビーイング実現をめざし，教育と福祉の目的・機能的な統合化を図ろうとする学的試みである。筆者としては，特に，「教育福祉論」の実践的価値に基軸をおき，「家庭－学校－地域」ベースにおける教育福祉的支援システムの基盤化と実働化を（実践）研究課題としている。 ②平成20年度，福祉専門職を学校に派遣するといった「スクールソーシャルワーカー活用事業」（文部科学省）が全国実施され，鹿児島県でも同年度からの事業開始となった。現在，筆者は，鹿児島県教育委員会からスーパーバイザーとしての任命を受け，県下の市町に任用されたスクールソーシャルワーカーとともに日々学校支援に努めている。昨今の家庭生活や地域生活にみられる子どもの不利益事態に対し，学校での問題（ニーズ）キャッチを契機とし，地域ベースの専門的援助（コミュニティワーク等）を実施することは有効であろうと考え，学校ソーシャルワークを含む子ども家庭ソーシャルワークのあり方や可能性について実践的に研究している。
主要研究業績等	・『知識を生かし実力をつける　子ども家庭福祉　第2版』（共著，教育情報出版，2022年） ・『幼児・初等教育入門Ⅱ』（共著，ラグーナ出版，2021年） ・『新・子ども家庭福祉－私たちは子どもに何ができるか－』（共著，教育情報出版，2020年） ・『幼児・初等教育入門』（共著，ラグーナ出版，2018年） ・『福祉を拓く 自立性と関係性の形成』（共著，南方新社，2017年） ・「保育所におけるケースワークアプローチ導入の意義について」（単著，『九州社会福祉学』第12号，日本社会福祉学会九州部会，2016年） ・「鹿児島県における学校ソーシャルワーク推進に向けての事業支援に関する検討」（単著，『九州社会福祉学』第11号，日本社会福祉学会九州部会，2015年）
研究領域	子ども家庭福祉，教育福祉

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	岩　崎　房　子	教授	①島嶼集落における地域包括ケアシステムに関する研究 ②高齢者ケア（看護・介護）に関する研究	博士（社会福祉学） 鹿児島国際大学

授業担当科目	〈M〉地域包括ケア特講，特別研究（演習）修士論文指導 〈D〉高齢者福祉特殊講義，特別研究（博士論文指導）
研究要旨	①医療・福祉サービスに乏しい島嶼地域における地域包括ケアシステム（地域づくり）の構成要素を明らかにし，自助・互助の掘り起しと，介護資源の地域化の可能性について実践的研究を行っている。 ②高齢者ケアにおける看護と介護の連携強化に関する研究を行っている。
主要研究業績等	・『島嶼集落における高齢者の生活・保健・介護と地域づくり－地域包括ケアシステム構築のための自助および互助力向上に向けて－』（単著，南方新社，2022年） ・「離島の離島における地域包括ケアのあり方に関する一考察－地域介護の活性化の可能性を探る－」（単著，『福祉開発研究』第2号，1-11，2019年） ・「介護効力感の測定と島嶼型地域医療・福祉－請島における地域住民を対象とした“介護教室”を踏まえて－」（単著，『九州社会福祉学年報』第9号，17-26，2018年） ・「介護効力感の測定と島嶼の地域医療福祉－島嶼地域における介護資源の地域化－」（共著，『福祉開発研究』創刊号，2018年） ・「高齢者とフレイル－超高齢社会におけるフレイルケアに関する一考察－」（単著，『鹿児島国際大学福祉社会学部論集』第36巻第2号，1-16，2017年）
研究領域	高齢者福祉，老年看護学，地域包括ケア

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	－	大　山　朝　子	教授	①福祉政策に関する研究 ②社会福祉実践史に関する研究	博士（社会福祉学） 鹿児島国際大学

授業担当科目	〈M〉社会福祉政策特講，特別研究（演習）修士論文指導
研究要旨	第2次世界大戦前までの福祉政策および第2次世界大戦後以降の福祉政策の動向をふまえ，日本の福祉社会を構成する諸領域の歴史の再解釈を行っている。なかでもその存在が自明視されてきた民生委員制度やそれに関連する政策あるいはその根底にある社会関係について焦点を当て研究している。また，わが国と欧米との福祉政策を比較し，その背景にある思想・理論についての研究も行っている。研究方法としては，文献（実践事例等）研究を中心としながら，実践者に対するインタビュー等についてのデータを蓄積し，分析する実証的研究を行っている。
主要研究業績等	・「社会福祉の歴史」（単著，『入門　社会福祉の原理と政策』ミネルヴァ書房，23-54，2022年） ・「島嶼集落における互助の現状と課題－自治会代表者への聞き取り調査をもとに－」（単著，『福祉開発研究』第2号，14-27，2019年） ・「島嶼地域における民生委員・児童委員の活動に関する一考察－アンケート調査をもとに－」（単著，『福祉を拓く－自立性と関係性の形成－』南方新社，51-72，2017年） ・「大阪府方面委員制度とエルバーフェルト制度における連続性についての一考察」（単著，『日本社会福祉学会九州部会九州社会福祉学』第5号，1-17，2009年） ・「鹿児島県における方面委員制度の成立と展開」（単著，『日本社会福祉学会九州部会九州社会福祉学』第3号，35-49，2007年）
研究領域	社会福祉の制度・政策，社会福祉の歴史

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	佐　野　正　彦	教授	ラベリング論に関する理論的・実証的研究	修士（社会学） 東洋大学

授業担当科目	〈M〉社会病理学特講，特別研究（演習）修士論文指導 〈D〉社会病理特殊講義，社会福祉リサーチ特殊講義，特別研究（博士論文指導）
研究要旨	ラベリング論が1960年代にアメリカ社会学会に登場してから半世紀以上が過ぎ，この理論の我が国への本格的紹介も70年代以降であった。それゆえ，ラベリング論はすでに新しい視角＝理論とは言えなくなった。しかしながら，この視角は，時間経過とともに陳腐化することなく，その新鮮みを保持している。こうした新鮮みの由来を理論的・実証的に検討していきたいと思う。
主要研究業績等	・『逸脱論と〈常識〉－レイベリング論を基軸として－』（単著，いなほ出版，2003年） ・『現象学的社会学は何を問うのか』（共編著，勁草書房，1998年） ・『ソシオロジカル・クエスト－現実理解の社会学－』（共編著，白菁社，1997年） ・『権力から読みとく現代人の社会学・入門』（共著，有斐閣，1996年）
研究領域	社会病理学，スティグマ研究

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	高　橋　信　行	教授	①高齢者の社会的孤立 ②自治体福祉計画の策定のあり方	修士（文学） 駒澤大学

授業担当科目	〈M〉地域福祉学特講，フィールドワーク実習，特別研究（演習）修士論文指導 〈D〉地域福祉特殊講義，社会福祉リサーチ特殊講義，特別研究（博士論文指導）
研究要旨	①ひとり暮らし高齢者の多い鹿児島で，高齢者の社会的孤立を，県内自治体を対象に調査研究をしている。 ②シンクタンク等に委託することが多い福祉計画の策定を調査活動から住民参加の視点をもって自立的に行政が策定するための方策を研究する。
主要研究業績等	・『私はどのようにしてソーシャルワーカーになったか：福祉専門職養成教育を補完するもの』(単著，中川書店2022) ・「上甑島における地域ケアの構築に向けて－アクションリサーチの視点から－」（単著，『地域総合研究』49(2) 2022年) ・「オンリーワンの福祉計画づくり－南大隅町地域福祉計画策定のための４年目の取り組み－」（単著，『地域総合研究』45(1) 2017年) ・「福祉専門職養成とキャリア形成」(単著，『日本社会福祉教育学会 学会誌 特集論文』第9・10号 合併 2014年) ・「ひとり暮らし高齢者の社会的孤立－地方都市，過疎地域，離島における実態－」（単著，『地域総合研究』40(1) 2012年)
研究領域	地域福祉研究，社会福祉研究法，社会福祉教育

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	千々岩　弘　一	教授	国語教育学専攻。漢字指導・書写指導・表記指導などの言語要素指導の研究。生涯教育的視点に立つ読書指導。	修士（教育学） 広島大学

授業担当科目	〈M〉特別研究（演習）修士論文指導 〈D〉生涯教育特殊講義，特別研究（博士論文指導）
研究要旨	生涯教育の視点から，人がよりよく生きるということと学びのありかたとの相関性について研究している。特に，乳幼児期から老年期にわたる読書の意義と役割について焦点化している。また，漢字指導・書写指導・表記指導などの言語要素指導に着目しながら，学校教育における国語学力の伸長をどのようにして実現していけばよいかについても研究している。研究の方法としては，児童・生徒の反応や成果物を考察して実証的なデータを蓄積・分析していく実証的研究，過去の実践事例や理論を考察する歴史的研究，例えばイギリスやノルウェーの実践と日本の実践とを比較・考察していく比較教育学的研究の手法をとっている。
主要研究業績等	・「乳幼児期の『読書』－意義と内実」（単著，『幼児・初等教育入門』＜ラグーナ出版，62-74，2018年＞所収） ・「国語科教育における漢字指導の共有点とその源流』（単著，『日本語学』34-5，明治書院，10-20，2015年） ・「「句読点」指導に関する研究(3)－英国「The National Curriculum」におけるPunctuation指導」（単著，『鹿児島短期大学研究紀要』56，1995年） ・『鹿児島県国語教育史資料－明治・大正編－』（単著，鹿児島短期大学附属南日本文化研究所，1990年）
研究領域	生涯教育，言語教育，学校教育

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	茶屋道　拓　哉	教授	①メンタルヘルスソーシャルワークに関する研究（特に専門職の抱えるディレンマ） ②精神保健福祉士の人材育成に関する研究	博士（社会福祉学） 鹿児島国際大学

授業担当科目	〈M〉精神保健福祉学特講，特別研究（演習）修士論文指導 〈D〉精神保健福祉特殊講義，特別研究（博士論文指導）
研究要旨	①わが国におけるメンタルヘルスソーシャルワークは，保健・医療・福祉領域において多様な専門職や人材が集う中で展開される。その中で，クライエント中心・権利擁護・ストレングス・リカバリー・エンパワメントを志向するソーシャルワーカー（特に精神保健福祉士）はディレンマを抱えやすい職種である。こういったディレンマに焦点を当て，場面ごとの構造化や解決（軽減）にむけた研究を行う。 ②精神保健福祉士の養成と卒後教育の連動，組織内におけるOJTやスーパービジョンに焦点を当てて，効果的な人材育成の在り方を探る。
主要研究業績等	①「災害対策研修に対する精神保健福祉士の視点－パイロット研修受講者に対するグループインタビューの分析－」（共著：『福祉社会学部論集』第41巻第3号，p14-27，2022年） ②「精神障害者の地域移行と住まいを取り巻く諸課題－鹿児島県における居住支援の取り組みから－」（単著：『地域総合研究』第50巻第1号，p1-11，2022年） ③「ソーシャルワーカーのリカレント教育の場としてのコミュニティリソース－鹿児島県における特色ある実践の再定義－」（単著：『地域総合研究』第49巻第1号，p31-41，2021年） ④『精神保健福祉の原理』（共著：中央法規，2021年） ⑤「熊本地震において精神保健福祉士が抱えた現実的課題－組織・クライエント・家族間における気がかりと行為に着目して－」（単著：『福祉社会学論集』第38巻第4号，p18-29，2020年） ⑥『精神保健福祉士の養成教育論－その展開と未来－』（共著：中央法規，2016年）
研究領域	社会福祉学（精神保健福祉領域），社会福祉研究法，社会福祉教育

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	－	永　冨　大　舗	講師	①応用行動分析学の理論を用いた実践研究 ②発達障害児，知的障害児への指導	修士（障害科学） 筑波大学

授業担当科目	〈M〉臨床発達心理学特講，特別研究（演習）修士論文指導
研究要旨	①応用行動分析学の理論を用い，支援者，職員，保護者，当事者の行動変容やスキルの獲得，効果的な研修に焦点を当てた研究を行っている。 ②発達障害児，知的障害児の学習面，行動面，社会性面のスキルの獲得や問題行動の減少に焦点を当てた研究を行っている。
主要研究業績等	・『保育者ができる 気になる行動を示す幼児への支援：応用行動分析学に基づく実践ガイドブック』（共著，学苑社，2021年） ・「自閉スペクトラム症児の課題従事行動と書字の正確性に及ぼすセルフモニタリングの効果」（共著，『行動分析学研究』34(1) P34～44, 2019年） ・「自閉症スペクトラム児に対する漢字トレース課題におけるビデオモデリングと自己評価手続きにおける効果の比較」（共著，『自閉症スペクトラム研究』16(1) P37～45, 2018年） ・「知的障害特別支援学校中学部における積極的行動支援の実践－登校時に自分から挨拶をする行動の形成－」（単著，『特殊教育学研究』56(1) P21～31, 2018年）
研究領域	特別支援教育，応用行動分析学，ペアレントトレーニング，スタッフトレーニング(職員研修)，コンサルテーション

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	林　　岳　宏	教授	①精神神経疾患の生物学的研究 ②精神医療での多職種連携に関する研究 ③スポーツと精神疾患に関する研究	博士（医学） 鹿児島大学

授業担当科目	〈M〉精神医学特講，特別研究（演習）修士論文指導 〈D〉精神医学特殊講義，特別研究（博士論文指導）
研究要旨	①統合失調症患者における薬剤性パーキンソニズムを中心に，分子遺伝学的手法を用いた精神疾患における研究を行っている。 ②精神医療における多職種連携のあり方について，精神保健福祉士の関わりを中心に研究を行っている。 ③アスリートへのメンタルヘルス支援に関する実践的研究を行っている。
主要研究業績等	・「抗精神病薬持効性注射剤導入の適応を考える－同居家族に精神疾患がある場合－」（共著，『九州神経精神医学』第63巻第3号，182-185頁，2017年） ・「ドパミン調節異常症候群」（共著，『分子精神医学』第13巻第3号，196-200頁，2013年） ・「Subcellular localization and putative role of VPS13A/chorein in dopaminergic cells.」（共著，『Biochemical and Biophysical Research Communications』第419巻第3号，511-516頁，2012年） ・「Adult-type metachromatic leukodystrophy with compound heterozygous ARSA mutations: A case report and phenotypic comparison with a previously reported case.」（共著，『Psychiatry and Clinical Neuroscience』第65巻第1号，105-108頁，2011年）
研究領域	生物学的精神医学，リエゾン精神医学，スポーツ精神医学

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	山　下　利恵子	准教授	社会保障制度研究	博士（社会福祉学） 鹿児島国際大学

授業担当科目	〈M〉社会保障論特講，特別研究（演習）修士論文指導
研究要旨	①社会保障制度を取り巻く社会経済状況が変化する中で多くの改革が行われ実施されているが，さらに検討すべき課題も残されている。それぞれの法改正，改革の内容やその功罪について，また社会保障制度全体のあり方について探ることを研究課題としている。 ②わが国の社会保障制度は社会保険を中心とし，普遍的性格をもつ年金，医療，介護，雇用，労災等が保険システムで展開されている。これら社会保険制度相互および生活保護制度等の関連性に焦点をあてた研究を行っている。
主要研究業績等	・「わが国の医療保障制度に関する一考察－制度の展開と財政調整を通して－」（単著，『福祉を拓く－現代福祉の諸論－』南方新社，143-162頁，2021年） ・「昭和恐慌期の農村医療の窮乏と国民健康保険法の制定」（単著，『福祉開発研究』第4号，NPO法人かごしま福祉開発研究所，37-48頁，2021年） ・「共生型サービス創設についての一考察－介護保険制度と障害福祉制度の改正を通して－」（単著，『鹿児島国際大学福祉社会学部論集』第37巻第3号，37-48頁，2018年）
研究領域	社会福祉学・社会保障

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	吉　留　久　晴	教授	ドイツの職業教育に関する研究	博士（教育学） 名古屋大学

授業担当科目	〈M〉職業教育学特講，特別研究（演習）修士論文指導 〈D〉職業教育特殊講義，特別研究（博士論文指導）
研究要旨	これまで，職業教育やキャリア教育に関する研究を実施してきた。現在は，比較職業教育学研究という立ち位置から，少子化や高学歴化が進行しているドイツにおける職業教育をめぐる新たな動きとそれらが既存の職業教育システムに影響を及ぼす可能性を，同国の職業教育のステークホルダーの見解等に注目しながら，明らかにする研究に従事している。
主要研究業績等	・『職業教育研究の諸相』（共編著，溪水社，2020年） ・「ドイツ・デュアルシステムの訓練市場の変貌」（単著，『福祉社会学部論集』第36巻第４号，2018年） ・「ドイツのデュアル大学での人材養成にかかわる産学連携の実相－デュアルパートナーの関与・役割に着目して－」（単著，『産業教育学研究』第45巻第１号，2015年） ・「ドイツにおける職業資格とアビトゥアの同等性確立の葛藤過程－ドイツ資格枠組みの資格参照レベルへの分類をめぐって－」（単著，『福祉社会学部論集』第31巻第４号，2013年） ・『工業高校の挑戦－高校教育再生への道－』（共著，学文社，2005年）
研究領域	教育学，職業教育学

授業科目・研究テーマ・研究要旨
【国際文化研究科】

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	戦　慶　勝 （国際文化研究科長）	教授	日本語の目的表現と中国語の目的表現に関する対照研究	博士（国際文化学） 鹿児島国際大学
授業担当科目	〈M〉中国語特殊講義，対照言語学特殊講義，国際文化研究演習，国際インターンシップ 〈D〉対照言語学特殊研究，国際文化研究指導，国際インターンシップ				
研究要旨	日本語の目的表現は主にタメとヨウニによって担われているが，中国語においては目的を表す形式の数がはるかにこれを上回っている。前置詞としての“为了”“为”のほかに，接続詞としての“以便”“以期”“以求”“用以”“借以”“以防”“以免”“省得”“免得”なども目的を表す意味・用法を有している。日本語の目的表現と中国語の目的表現のあり方を対照分析の視点から検証する。				
主要研究業績等	・《汉语敬语研究》（単著，白帝社，2023年） ・『中国語と日本語における目的表現の対照研究』（単著，白帝社，2016年） ・「中国語の“以”類の目的表現と日本語のヨウニの対応・非対応関係」（単著，『日中言語対照研究論集』第16号，90-110，2014年） ・「『V＋ナイ＋タメ』・『V＋ナイ＋ヨウニ』の使い分けについて」（Proceedings of the Thirty-Seventh Annual Meeting of The Kansai Linguistic Society 33，109-120，2013年） ・「“免得”“省得”の目的用法について」（単著，『中国語研究』53，77-88，2011年）				

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	飯　田　伸　二	教授	①フランシス・ポンジュ研究 ②フランスにおける国語教育 ③表象文化研究	博士（文学） パリ第３大学
授業担当科目	〈M〉フランス語特殊講義，フランス文学，国際文化研究演習 〈D〉近・現代ヨーロッパ表象文化特殊研究，国際文化研究指導				
研究要旨	従来，20世紀フランスを代表する詩人の一人である，フランシス・ポンジュを研究してきた。 近年は，科学研究費補助金を受け，フランスの学校制度，とりわけ中等教育における国語教育を研究している。具体的には，カリキュラムの変遷の分析，教科書の体系的な収集および内容・構成の分析，前期中等教育修了認定試験で出題される問題の形式・内容の分析を行っている。				
主要研究業績等	・『文学遺産と国語教育』（共著，鹿児島国際大学国際文化学部国際文化学科，v＋122，2018年） ・「教育成功のための個人プログラム（PPRE）：その理念とコレージュにおける実践」（『フランス教育学会紀要』22，101-114，2010年） ・「母国語の再構築：コレージュ第六学年現行フランス語カリキュラムをめぐって」（『日仏教育学会』12（通巻34），57-66，2006年） ・『Le Tournant poétique de Francis Ponge』（Presses universitaires du Kyushu，316，2005年） ・「Francis Ponge face à l’art contemporian」（『Stella』16，77-117，1996年，1999年度日本フランス語フランス文学会奨励賞受賞）				

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	伊　藤　　綾	教授	①声楽作品における言葉と音楽の関係 ②拍節法	博士（哲学） ドイツ・カールスルーエ大学

授業担当科目	〈M〉 地域芸術文化論Ⅰ・Ⅱ，ドイツの歴史と文化，国際文化研究演習 〈D〉 音楽学特殊研究，国際文化研究指導
研究要旨	①18～20世紀初頭のとくにドイツ声楽作品を対象として，言葉の韻律と音楽の拍節の関係を中心に分析することにより，作品の特徴を明らかにするとともに，最終的には作曲家の意図にまで踏み込んで考察している。 ②西洋芸術音楽を，拍節を中心に分析することにより，分析対象作品固有の特色や，作曲家特有の作曲技法を明らかにすることを試みている。
主要研究業績等	・「A Comparative and a Syntactic Analysis of Richard Strauss's Lied *Leise Lieder* and That of Max Reger」（単著，『鹿児島国際大学大学院学術論集』第12集，41-54，2020年） ・「リヒャルト・ワーグナーのオペラ《タンホイザー》における秩序と破綻」（単著，『鹿児島国際大学国際文化学部論集』第21巻 第1号，1-18，2020年） ・「管弦楽法とドラマトゥルギー－ミヒャエル・ポルト『音色と管弦楽技法』の読解と補遺」（単著，『年間ワーグナー・フォーラム2010』，38-55，2010年） ・「ローベルト・シューマン《ヴィルヘルム・マイスター歌曲集》における連作性」（単著，『横浜市立大学論叢』第59巻第3号，57-78，2008年） ・『Studien zur Metrik Beethovens』（単著，Peter Lang Verlag，2006年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	－	内　山　　仁	准教授	授業研究，学校改革	修士（教育学） 東京大学

授業担当科目	〈M〉 教育学特殊講義Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習
研究要旨	鹿児島県を中心に，九州各県の市町村教育委員会，各学校，民間教育団体等と連携・協働しながら，授業研究（レッスン・スタディ）を中核に置いた学校改革を推進している。アクション・リサーチの考え方を基本とするが，子どもや学び，授業や教師，校内研修や学校改革を適切に分析していくために，社会学的，心理学的，歴史学的知見から学んでいる。
主要研究業績等	・「授業のデザイン」（共著，『教育方法・技術論』，2018年3月） ・「教師の資質能力」（共著，『教職概論－理想の教師像を求めて－』，2020年4月） ・「学び続ける教師」（共著，『教職概論－理想の教師像を求めて－』，2020年4月） ・「子どもも親も教師も育ちあう自然学校」（共著，『鹿児島の子どもハンドブック 民間版子ども基本計画』，2021年2月）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	太　田　秀　春	教授	日本・朝鮮半島の関係および交流 近世の藩政史・城郭史	博士（国際文化） 東北大学

授業担当科目	〈M〉 日本史特殊講義Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習 〈D〉 日本史特殊研究，国際文化研究指導
研究要旨	日本・朝鮮半島の関係および交流，近世の藩政史・城郭史を研究テーマとしており，具体的には次のような研究を行っている。 ①朝鮮の役と日朝関係・交流史（城郭からみた戦役研究） ②近代日朝関係史（文化財に対する政策を中心に） ③近世の藩政史（仙台藩や薩摩藩などの要害制・外城制） ④中近世の島津氏（島津義弘を中心に）
主要研究業績等	・「島津義弘の朝鮮出兵と異文化認識」（『北海道・鹿児島・沖縄の歴史と経済』，日本経済評論社，2019年） ・「日本水軍の朝鮮出兵と島津義弘」（『충무공 이순신과 해양(忠武公李舜臣と海洋)』5，2019年） ・「朝鮮出兵と奥羽の城郭」（『東北の中世史５－東北近世の胎動－』，吉川弘文館，2018年） ・『近代の古蹟空間と日朝関係－倭城・顕彰・地域社会－』（単著，清文堂出版，2008年） ・『朝鮮の役と日朝城郭史の研究－異文化の遭遇・受容・変容－』（単著，清文堂出版，2006年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	大　西　智　和	教授	①九州の埴輪・須恵器の社会的意味に関する研究 ②南九州の墓制研究 ③微細資料を用いた食用資源利用の研究	博士（文学） 九州大学

授業担当科目	〈M〉考古学特論Ⅰ，考古学論文研究Ⅰ，ワークショップ３(考古学と情報科学Ⅱ)，考古学実習Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習 〈D〉比較考古学特殊研究，国際文化研究指導
研究要旨	①九州の古墳で使用された埴輪や須恵器は，どのような意味を有していたのかについて研究を進めている。 ②南九州に見られる古墳時代地下式横穴墓や土壙墓の発掘調査を実施し，得られた情報をもとに，南九州の古墳文化への新たな位置づけを試みている。 ③遺構から採取した土壌を洗浄・選別して得た微細資料や，土器から採取した圧痕資料を同定し，先史時代の食用資源利用状況を明らかにするとともに，その背景について研究を進めている。
主要研究業績等	・「西日本の積石塚 九州南西海岸」（『積石塚大全』雄山閣，86-96，2017年） ・「鹿児島県南さつま市中岳山麓窯跡群の窓構造の把握に向けた試み」（『Archaeology from the south Ⅲ 本田道輝先生退職記念論文集』，269-278，2015年） ・「地下式横穴墓出土の蛇行剣の性格」（『Archaeology from the South Ⅱ 新田栄治先生退職記念論文集』239-250，2014年） ・「杵築市小熊山古墳出土埴輪の胎土分析とその解釈」（『東アジア考古学論攷2』中国書店，217-235，2014年） ・「鹿児島県甑島出土資料のレプリカ法による土器圧痕調査－弥生～古墳時代の食用植物利用について－」（『中軒沈奉謹先生古稀論集』2巻，121-135，2012年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	久　保　　禎	教授	音楽作品に関する楽曲分析および理論研究	教育学修士 東京学芸大学

授業担当科目	〈M〉楽曲研究特殊講義Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習
研究要旨	①対象作品が拠って立つ時代背景や作曲家の特徴などを踏まえながら，各作品に内在する美を作曲理論的観点から研究する。 ②地域性あるいは同時代性に立脚した作曲の方法論を研究する。
主要研究業績等	・「クロード・ドビュッシーにおける対位法に関する考察」（単著，『鹿児島国際大学国際文化学部論集』第22巻 第3号，145-161，2021年） ・《５つの風景画》より（ピアノ独奏版）（単著，「第23回ヨンナム国際現代音楽祭」委嘱作品，テグ・コンサート・ハウス（韓国），2021年） ・「クロード・ドビュッシーにおける『創意』に関する考察」（単著，『鹿児島国際大学国際文化学部論集』第21巻 第2号，117-131，2020年） ・《乱声響楽～南九州歌謡による～》（単著，「芥川也寸志メモリアル オーケストラ・ニッポニカ第30回演奏会」委嘱作品，紀尾井ホール（東京），2017年） ・《弦楽四重奏曲“哀歌”》（単著，「日本・フィリピン友好合作現代音楽祭」委嘱作品，マニラ・Philam life Auditorium，2013年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	小　林　潤　司	教授	初期近代イングランドにおける演劇と文化	文学修士 大阪市立大学

授業担当科目	〈M〉イギリス文学Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習
研究要旨	16世紀から17世紀にかけてのイングランドにおける新しい民衆演劇の興隆を準備し，下支えしたものは何であったのかを，都市と地方，宮廷と教会と街場，内地と植民地と外国など，多様でダイナミックな異文化の衝突と接触の諸相のなかに探ろうとしている。
主要研究業績等	・『近代初期イギリス演劇選集』鹿児島近代初期演劇研究会訳（共訳，九州大学出版会，2023年） ・「予言のテクストとサブテクスト－『マクベス』におけるインターテクスチュアリティ」『国際文化学部論集』第23巻 第1号（鹿児島国際大学国際文化学部，2022年） ・「J. D. サリンジャー『キャッチャー・イン・ザ・ライ』を読む」『国際文化学部論集』第20巻 第４号（鹿児島国際大学国際文化学部，2020年） ・『王政復古期シェイクスピア改作戯曲選集』鹿児島近代初期英国演劇研究会訳（共訳，九州大学出版会，2018年） ・「“Have with my knife carved in Roman letters”－『タイタス・アンドロニカス』における文字と帝国」『第90回大会Proceedings（付2017年度支部大会Proceedings)』（日本英文学会，2018年） ・『甦るシェイクスピア 没後四○○周年記念論集』日本シェイクスピア協会編（共著，研究社，2016年） ・『イギリス文化事典』川成洋ほか編（項目執筆，丸善出版，2014年） ・『シェイクスピア 古典文学と対話する劇作家』（共著，松籟社，2013年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	杉　山　朱　実	教授	「南ヨーロッパを中心とする比較言語学研究」を形態・統語論の視点から分析し類似点・相違点を明らかにする。	博士（現代文学） フランス・トゥールーズ・ミラーユ大学

授業担当科目	〈M〉日欧比較言語論，ロマンス語圏比較論，国際文化研究演習 〈D〉欧米語学特殊研究Ⅱ，国際文化研究指導
研究要旨	イベリア半島から東ヨーロッパにかけての広大な地域は，印欧祖語から派生したロマンス諸語のほか，ピレネー山脈一帯に広がるバスク語がある。位置的にはヨーロッパ言語であるにも関わらず，いまだにその言語起源や言語系列は確証できていない。この南ヨーロッパにおける言語状況・言語分布を検証し，そこにバスク語が，どのように言語学的に影響をしているのかを，形態・統語論の視点から検証・検討している。又，バスク語の干渉以外にも，南ヨーロッパにおけるロマンス語圏の言語（フランス語・イタリア語・スペイン語・カタラン語，etc.）の，言語状況・言語分布の検証と共に，その文化的背景の検証も行う。
主要研究業績等	・「フランス元首相，ドミニク・ド・ヴィルパン氏－“眠れぬ館”での「平和への思い」－」（『鹿児島国際大学国際文化学部論集』13(4)，321-330，2013年） ・『アンドレ・マルティネ 生誕100周年』（単著，高城書房，2009年） ・『CONTRIBUTION A UNE TYPOLOGIE MORPHOSYNTAXIQUE COMPAREE DES SYSTEMES VERBAUX DU BASQUE, DU TURC, DU JAPONAIS ET DU FRANCAIS.』（単著，南日本共同印刷，2001年） ・「AU POINT DE VUE DE LA LINGUISTIQUE COMPAREE - UNE DIFFERENCE et UNE ANALOGIE ENTRE LESANGUES AGGLUTINANTES QUI SONT DANS I'ELOIGNEMENT.」（単著，『地域総合研究』29(1)，51-64，2001年） ・「アンドレ・マルティネ マラーから言語学へのいざない」（単著，『大阪音楽大学研究紀要』36，193-204，1997年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	－	祖　慶　壽　子	教授	日本語と英語の言語変種を分析しその成果を言語教育に応用する。	言語学修士 ミシガン大学

授業担当科目	〈M〉時事英語，日本語学特殊講義，日本語教育特殊講義，国際文化研究演習
研究要旨	ある言語には標準になる言葉とその変種がある。研究の中心は，標準語と地域語の葛藤の変遷を調べることと，その成果を教育に応用することである。一例として，英語の場合は，英国英語と米国英語の相違点を調べることにより，英語の発音教育や語彙の指導に役立てることなどである。また，日本語教育では地域語を日本事情等の教材に取り組むことなどである。今後，同一言語内だけでなく，日英両言語の比較も進める予定である。
主要研究業績等	・「文学遺産と国語教育」（共著，『鹿児島国際大学国際文化学部国際文化学科』2018年） ・「日本語教員養成課程の学生による地域貢献の試み－鹿児島国際大学の場合－」（単著，『鹿児島国際大学国際文化学部論集』第42巻第1号，2014年） ・「沖縄県宮古郡多良間における「生活者としての外国人」のためのニーズ調査『鹿児島国際大学国際文化学部論集』第14巻第3号」，2013年） ・「アジアの視点で英語を考える」（単著，朝日出版社，2005年） ・「地域教材『ウチナー事情入門』開発の試み」（全国語学教育学会，2001年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
－	－	田　中　美　佳	講師	近代朝鮮における出版文化の形成と展開	博士（文学） 九州大学

授業担当科目	〈M〉韓国語特殊講義，韓国・朝鮮史特殊講義
研究要旨	近代朝鮮における知識人の出版活動や出版文化について研究している。具体的には，朝鮮初の本格的な出版社である新文館について，同時期の日本の出版界との影響関係のなかで考察してきた。近年は，朝鮮の出版文化が1920年代以降大衆化していく過程を分析している。
主要研究業績等	・『朝鮮出版文化の誕生－崔南善・新文館と近代日本』（慶應義塾大学出版会，2022年） ・「『中等朝鮮語作文』（1928年）の成立過程－1920年代における朝鮮出版界の一断面」（『年報朝鮮学』25，1-23，2022年） ・「植民地期朝鮮における民間読本－1920年代初頭の青年読本を中心に」『韓国朝鮮の文化と社会』21，141-174，2022年） ・「출판사 신문관의 단행본－잡지사업 및 일본 출판계와의 관계성을 중심으로(出版社新文館の単行本－雑誌事業および日本の出版界との関係性を中心に)」『尚虚学報』60，267-308，2020年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	トーランド・ショーン・ヘンリー	教授	Technology-enhanced learning	修士（教育学） カナダ・ブロック大学
授業担当科目	〈M〉英語論文研究Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習				
研究要旨	テクノロジーを強化した学習，教材開発，批判的思考，教師のトレーニングなどを研究対象としており，e-ラーニング研究とテクノロジーに特化した学習について研究している。				
主要研究業績等	・(2021). Twenty-first century teacher-directed professional development: Helping Japanese English teachers escape their 'egg cartons'. *The Proceedings of the 24th and 25th Annual TESOL Arabia International Conference and Exhibition.* 88-102. ・(2021). Designing an effective EAP course: A PBL approach. *The Asian ESP Journal,* 17(5), 139-166. ・(2020). Weaving critical thinking skills into a Japanese university EAP course. *OnCUE Journal - Special Issue,* 2(1), 74-83. ・(2018). Record, reflect, and present: Enhancing Japanese university students' presentation skills via carousel poster sessions and mobile videos. In G. Kessler (Ed.). *Voices from the TESOL classroom: Participant inquiries in online and hybrid classes* (pp. 79-88). Alexandria, VA: TESOL Press.				

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	中　園　　聡	教授	考古学の理論と方法： 考古科学，認知考古学， 民族考古学の実践	博士（文学） 九州大学
授業担当科目	〈M〉考古学特論Ⅱ，考古学論文研究Ⅱ，ワークショップ２(考古学と情報科学Ⅰ)，考古学実習Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習 〈D〉情報・理論考古学特殊研究，国際文化研究指導				
研究要旨	時代・地域を問わず先端的な考古学の研究・実践を目標としている。土器などの物質資料の詳細観察などを行いつつも，蛍光X線分析による土器の胎土分析の実施や，3D計測による製作者個人同定法の開発に取り組むなど，科学的方法の採用にも積極的に取り組んでいる。また，ヒトの認知に着目した認知考古学的説明・解釈の試みや，海外での民族考古学的調査など，複数の視点を組み合わせた実践から，新しい解釈・説明を行いつつある。地域活性化に関する考古学的・博物館学的活動にも取り組んでいる。				
主要研究業績等	・『文化情報学事典』（共編著，勉誠出版，2019年） ・『季刊考古学』140 特集3D技術と考古学（編著，雄山閣，2017年） ・「「交替劇」後のホモ・サピエンスと土器」『ホモ・サピエンスと旧人２』（六一書房，2015年） ・『邪馬台国時代のクニグニ南九州』（共著，青垣出版，2014年） ・「The role of long-distance interaction in the socio-cultural change in Yayoi period, Japan」『Coexistence and Cultural Transmission in East Asia』(California: Left Coast Press 2011年) ・『稲作伝来　先史日本を復元する4』（共著，岩波書店，2005年）				

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
―	―	中　村　智　子	教授	古典から現代におよび西洋音楽（声楽曲）における楽曲分析，思想解釈，総合的な研究と実践。日本歌曲研究	芸術学士 ドイツデトモルト 国立音楽大学
授業担当科目	〈M〉ワークショップ４（音楽と表現Ⅰ），ワークショップ５（音楽と表現Ⅱ）， ワークショップ６（音楽と舞台Ⅰ），ワークショップ７（音楽と舞台Ⅱ）				
研究要旨	声楽研究の中でも，実践は年齢や体力の衰えに伴い，オペラ歌手現役時代のレベルを保つことは困難であるが，これまでの経験を生かし，楽曲分析，思想解釈も含め，教育の場でその技術の伝授を行っている。特に日本歌曲研究は，日本人としての課題としている。最近では，全国骨髄バンク推進連絡会議の主催・共催により，日本歌曲を中心に演奏し，一人でも多くの方がドナー登録をして下さる為の社会的活動も行っている。				
主要研究業績等	・ドイツシュトゥットガルト国立歌劇場契約 ・オーストリアウィーン国立歌劇場契約 ・ドイツドレスデン国立歌劇場契約 ・ドイツケルン歌劇場契約 ・フランスボルドー国際歌劇場契約				

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	マクマレイ・デビッド	教授	詩の研究，英語授業研究および実践英語教育学・Teaching English to Speakers of Other Languages	経営学修士 カナダ・ケベック市 ラバル大学

授業担当科目	〈M〉英語特殊講義Ⅰ・Ⅱ，英語教育法Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習，国際インターンシップ 〈D〉英語教育法特殊研究，国際インターンシップ
研究要旨	研究の主要テーマは英語授業研究および英語実践教育学である。詳細な調査は英語の俳句，ビジネス英語とカナダの教育方法を含んでいます。詩としての国際俳句は，文学として分析される。シラブルや比喩，直喩，擬人法，省略や他の文学的手法の観点から分析される。日本の俳句と国際俳句の作詩法の比較を行っている。アジアにおけるビジネス英語学習者の求めるものを明らかにし，事例研究を行う。教育方法論の分析研究はカナダで伝導。
主要研究業績等	・『Teaching and Learning Haiku in English英語で教える・学ぶ俳句』（単著，鹿児島国際大学，B5判総154頁，担当部分：i-vi，1-148，2022年２月11日） ・「Understanding […] Ellipsis through Analysis of Haiku in English・英語俳句の分析を通した「省略記号」の理解」（単著，査読，『鹿児島国際大学大学院学術論集 The IUK Graduate School Journal』13，1-10，2021年11月） ・「英語・国際俳句の真髄に迫る」。（単著，査読，『愛知県立大学文字文化財研究所紀要/Memoirs of the Cultural Documents Research Institute, Aichi Prefectural University』(6)，03-15，2020年3月） ・「A Comparative Study of Japanese and Western Perceptions of Photo-Haiku」（単著，査読，『鹿児島国際大学大学院学術論集 The IUK Graduate School Journal』11，31-40，2019年11月） ・『Active Learning & Active Testing 学生参加型の実践的授業における評価方法』（単著，鹿児島国際大学，B5判総80頁，数担当部分：1-80，2018年２月１日） ・「Mixed Language Haiku」『Juxta Three The Journal of Haiku Research and Scholarship』（単著，査読，Winchester, Virginia: The Haiku Foundation 出版会，B5判総頁数190頁担当部分：123-139，2017年3月6日） ・「大統領の俳句The Presidents Haiku」（単著，査読，『鹿児島国際大学大学院学術論集 The IUK Graduate School Journal』第８集，35-44，2016年11月）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	松　尾　弘　徳	准教授	1. 狂言資料による日本近代語研究 2. 日本語文法史の研究 3. 方言に見られる文法変化の研究	修士（文学） 九州大学

授業担当科目	〈M〉日本語史，日本文化と国語教育Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習
研究要旨	「言語変化」「文法変化」をテーマとして次のような研究を進めている。近年は，「言語教育」にも関心がある。 ①古代語から近代語へ推移する過程で生じた日本語の条件表現や当為表現形式の文法変化について，中世・近世期に成立した狂言資料や抄物資料を用いて考察している。 ②九州地域の若年層が作りだした「新方言」についてその言語変化の発生理由を考察しており，現在は福岡方言におけるとりたて用法としてのゲナ，奄美群島方言におけるモダリティ形式マイなどを研究対象としている。
主要研究業績等	・「奄美大島・喜界島・与論島方言のマイ－義務的モダリティの用法を中心に－」（招待発表，第72回西日本国語国文学会，2022年9月11日） ・「大学フィールドワークとしての「謎解きイベント」企画運営の試み－地域と繋がるための主体的な学びを目指して－」（招待講演，韓国日本研究総連合会第10回国際学術大会，2022年4月16日） ・「『小さなことばたち』に目を向けられる学生をそだてるために」（単著，『西日本国語国文学』5，52-61，2018年） ・「通時的観点を考慮した日本語教育のために－日本語文法史的知見の活用－」（単著，『国際文化学部論集』17(2)，85-94，2016年） ・「鹿児島県内方言調査から見えてくること－フィールドワーク教育としての方言調査の意義－」（単著，『国際文化学部論集』14(4)，303-315，2014年） ・「新方言としてのとりたて詞ゲナの成立」（単著，『語文研究』(107，61-77，2009年） ・「因由形式の包含関係から見た天理図書館蔵『狂言六義』」（単著，『文献探究』46，130-144，2008年） ・「尊経閣文庫蔵『論語講義筆記』の文体－逆接の接続詞サレドモとアレドモを中心に－」（単著，『文献探究』(42，108-117，2004年） ・「狂言台本における二重否定の当為表現－大蔵流虎明本・版本狂言記を中心に－」（単著，『語文研究』(95，64-76，2003年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
―	―	馬　原　裕　子	准教授	日本歌曲・ドイツ歌曲・ 宗教曲・オペラ	修士 東京芸術大学

授業担当科目	〈M〉西洋音楽論Ⅰ・Ⅱ，ワークショップ４（音楽と表現Ⅰ），ワークショップ５（音楽と表現Ⅱ），ワークショップ６（音楽と舞台Ⅰ），ワークショップ７（音楽と舞台Ⅱ）
研究要旨	声楽とは言葉を操る楽器である。 様々な国の言語を知ることは，その国の歴史・文化を知ることであり，声楽を学ぶものにとって必要不可欠なものである。 その言語を身体を使っていかに美しく発音し，音に乗せていくのか。 それぞれの国の言語の特徴を知ることでより良い発音を導き出すことが出来，それが音楽への表現へと繋がっていくことを研究する。
主要研究業績等	・新国立劇場　高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演　モーツァルト「魔笛」パミーナ ・新日フィルハーモニー交響楽団9月演奏会トパーズ〈トリフォニー・シリーズ〉 ・東京・春・音楽祭ミュージアムコンサート「クリムト展」プレ・コンサート ・新国立劇場　大野和士のオペラ玉手箱　Vol.1『魔笛』 ・東京・春・音楽祭　東京春祭マラソン・コンサートvol.8 ・霧島国際音楽祭 ・愛知県公立大学法人愛知県立芸術大学　馬原裕子レクチャーコンサート　～日本歌曲の世界～

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	武　藤　那賀子	准教授	平安文学，書誌学	博士(日本語日本文学) 学習院大学

授業担当科目	〈M〉日本古典文学Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習，日本語論文研究 〈D〉日本古典文学特殊研究
研究要旨	いわゆる歴史物語や漢文日記，仮名日記といった「歴史」に分類されるものも，作者がいるかぎり「物語」である。「平安文学」はそれらすべてを網羅したものを指す。人物論・物語構造論・歴史考察といったように「物語」を読む際には多面的な視点が必要となる。また，「物語」の「語り」についても言及する。日本古典文学においては，誰がどこで語っているのかという「語り」の問題が重要となる。さらに，ここ数年で特に興味を持っているのが書誌学である。鎌倉時代～江戸時代に書かれた（あるいは出版された）古典籍を対象とし，現行で読まれている本文と比較している。
主要研究業績等	・『学習院本「藤袴」（榊原本僚帖）の書誌学的考察』（単著，勉誠出版，2023年） ・『うつほ物語論 物語文学と「書くこと」』（単著，笠間書院，2017年） ・「古典籍が「貴重書」となるとき――玉里文庫本古筆源氏物語を例に」（『物語研究』第23号，2023年3月） ・「玉里文庫本『古筆源氏物語』「若菜下」巻・第八一～一二〇丁の翻刻と考察」（共著：代表執筆者，『国際文化学部論集』第23巻第4号，2023年3月） ・「ディアスポラを志向する昔男――『伊勢物語』「東下り」の和歌と境」（『日本文学』第825号，2022年3月） ・「同じ呼称の人物が織りなす物語――『浅茅が露』における「中将」（『物語研究』第22号，2022年3月） ・「『あさぢが露』の書誌再検討――書写状況と巻末の脱落を考える」（『王朝文学の〈旋律〉』新典社，2022年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	村　瀬　士　朗	教授	日本近代文学	文学修士 北海道大学

授業担当科目	〈M〉日本近代文学Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習
研究要旨	主として夏目漱石のテキストを分析対象とした，近代日本社会の基盤を形成する諸制度の生成と発展のプロセスを検討する研究。近代日本社会における「文学」と「文学者」の社会的な価値の形成過程を検討すると同時に，近代日本のネイション・ビルディングにおいて活字メディアが果たしてきた機能と性格を明らかにすることを目論んでいる。
主要研究業績等	・『文学遺産と国語教育』（共編著，鹿児島国際大学国際文化学部国際文化学科，2018年） ・『漱石辞典』（項目執筆，翰林書房，2017年） ・『ディスクールの帝国－明治三〇年代の文化研究』（共著，新曜社，2000年） ・『近代秩序への接近』（共著，日本経済評論社，1999年） ・「流通する「文学」，「文学者」の自立」（『文学』2(1)，50-67，1991年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	森　　勝　彦	教授	東アジアの歴史的都市の交易，通信，不管地性に関する歴史地理学的研究	国際学修士 筑波大学

授業担当科目	〈M〉東アジアの歴史地理Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習
研究要旨	環東シナ海に面した歴史都市の交易・港湾機能の相互関連や交流の空間性とそれらの空間の東アジア的アナーキー性を明らかにし，現代の歴史的景観の保存と再生に生かすことを目的とした研究
主要研究業績等	・『九州の港と唐人町』（単著，海鳥社，2021年） ・「香港の港湾施設空間の近現代と再開発」（『地域総合研究』48(1)，2020年） ・『不管地の地政学－アジア的アナーキー空間序論』（単著，中国書店，2019年） ・「天津の港湾施設空間の近代と再開発」『国際文化学部論集』19(3)，2018年） ・「上海の港湾施設空間の近代と再開発」『国際文化学部論集』18(3)，2017年） ・『中華郵便局の歴史地理』（単著，中国書店，2012年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	森　　孝　晴	教授	アメリカ自然主義文学， 特にジャック・ロンドン	博士（国際文化学） 鹿児島国際大学

授業担当科目	〈M〉アメリカ文学Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習 〈D〉欧米語学特殊研究Ⅲ，国際文化研究指導
研究要旨	アメリカ自然主義文学の中でも特にジャック・ロンドンの小説を研究している。最近は，ジャック・ロンドンと日本（鹿児島）の文学的影響関係に強い関心を持っている。ロンドンは日本人（薩摩の武人たち）から強い文学的影響を受けて小説を書いており，またロンドンが鹿児島の文学者（椋鳩十等）に強い影響を与えているので，この関係を解明しつつある。さらに，ロンドン文学のエコクリティシズム的分析も進めていこうとしている。
主要研究業績等	・『長沢鼎　武士道精神と研究者精神で生き抜いたワインメーカー』（単著，高城書房，2018年） ・『ジャック・ロンドンと鹿児島』（単著，高城書房，2014年） ・『Jack London in Canada』（単著，Canada Project Kyushu，2012年） ・『椋鳩十とジャック・ロンドン』（単著，高城書房，1998年） ・『ジャック・ロンドン』（共著，三友社出版，1989年）

修士演習	博士演習	教 員 氏 名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	山　下　孝　子	教授	演劇と現実表象，近代初期イングランド演劇における劇場，役者，印刷所を繋ぐネットワークの研究	文学修士 筑波大学

授業担当科目	〈M〉イギリス演劇Ⅰ・Ⅱ，国際文化研究演習
研究要旨	演劇における「虚構」と「現実」の関係性，とりわけ，その表象実践と現実描写を探ろうとする研究の一環として，主にイングランド演劇文化を対象とし，シェイクスピア劇やそれ以外のルネサンス演劇を通史的な視点で意味づけ，解明しようとする。また，現存する演劇関連の記録，作品の古版本等の物的証拠を調査することによって，近代初期当時のイングランド演劇における劇作家，幹部俳優，劇場所有者，印刷出版業者等をはじめとした演劇世界全般の相関的ネットワーク構築の特徴的なありようの検証を試みる。
主要研究業績等	・『近代初期イギリス演劇選集』鹿児島近代初期英国演劇研究会訳（共訳，九州大学出版会，2023年） ・『王政復古期シェイクスピア改作戯曲選集』鹿児島近代初期英国演劇研究会訳（共訳，九州大学出版会，2018年） ・「“Never was a war did cease (Ere bloody hands were wash'd) with such a peace”『シンベリン』における侵害の脅威と回避，身体と国家をめぐる不安」『第90回大会Proceedings（付2017年度支部大会Proceedings)』（日本英文学会，2018年） ・「バーナード・ショー作『「シンベリン」仕上げ直し』――翻訳と注解――」（『鹿児島経済論集』第57巻第１号，49-85，2016年） ・『世界児童・青少年文学情報大事典』第四，五，八巻（項目執筆，勉誠出版，2001，2002年） ・『ニュー・ミメーシス』（叢書・ウニベルシタス646）（共訳，法政大学出版局，1999年）

心身に障がいを有する入学志願者との事前相談

心身に障害を有する者で，受験又は修学上，特別な配慮を必要とする受験生は，できるだけ早めに入試・広報課へ連絡してください。

出願にあたっては，入試・広報課に必ず相談してください。必要な場合は，本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者などとの面談を行います。

入学試験の過去問題について

入学試験の過去問題については，全研究科・課程とも入試・広報課で閲覧できます。

個別の入学資格審査

博士前期課程（修士課程）を一般入学試験，社会人入学試験，外国人留学生入学試験の出願資格(6)によって出願しようとする者，及び博士後期課程を一般入学試験，社会人入学試験，外国人留学生入学試験の出願資格(5)によって出願しようとする者を対象に「個別の入学資格審査」を実施します。この審査により許可を得た者のみが入学試験を受験することができます。

希望者は，事前に入試・広報課に連絡のうえ，必要書類を所定の期日までに提出してください。

(1) 提出書類（書類に不備がある場合には受け付けません）

① 出願資格個別審査申請書（入試・広報課への申し出により所定用紙を配付します）
② 最終卒業学校の卒業（見込み）証明書及び成績証明書
③ 取得免許・資格等に関する書類の写し
④ 経歴，研究業績に関する書類
⑤ 返信用封筒
（長形３号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し，簡易書留分の切手（404円分）を貼ったもの）
⑥ その他，本学が提出を求める書類

※外国語で書かれた書類には，必ず日本語訳を添付すること。

(2) 提出締切日

秋 季（１０月）入 学　2023(令和５)年５月26日(金)　〔必着〕
春季(４月)入学前期日程　2023(令和５)年６月29日(木)　〔必着〕
春季(４月)入学後期日程　2023(令和５)年12月８日(金)　〔必着〕

入学試験における成績開示について

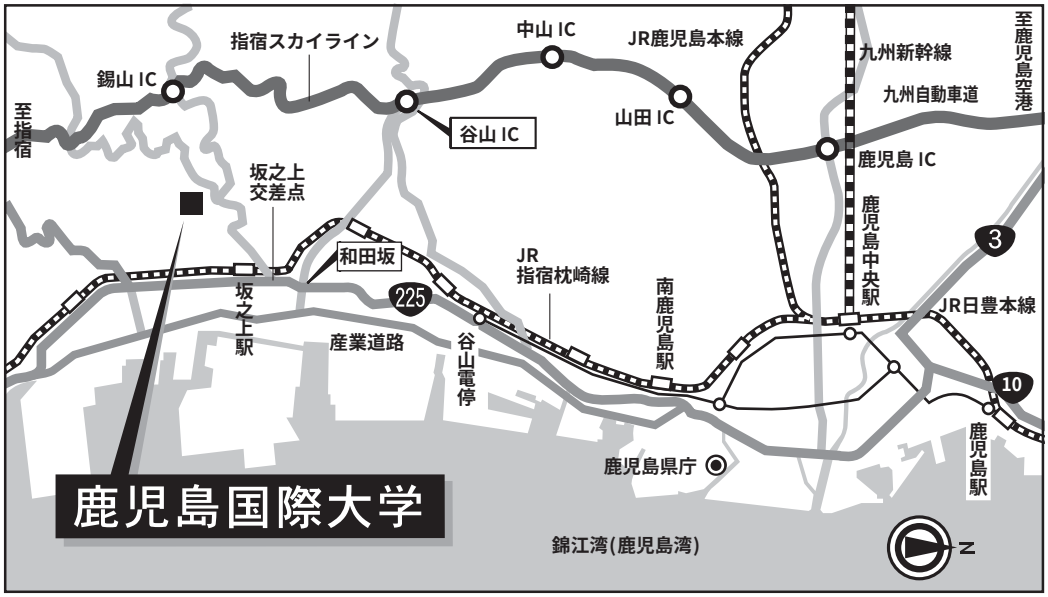
成績開示を希望される方（受験者本人に限る）は，下記期間内に「大学院入学試験成績開示請求書」を提出してください。詳細は，入試・広報課へお問い合わせください。

［開示請求期間］秋季(10月)入学　2023年９月13日(水)～９月22日(金)　〔必着〕
春季(４月)入学(前期・後期日程)　2024年４月１日(月)～４月13日(土)　〔必着〕
(窓口受付　平日９：00～16：30　土曜日９：00～12：00)

入学試験にかかわる個人情報の取扱いについて

受験生のみなさんの個人情報については，入学試験の出願から実施及び合格発表，学籍発生までの入学手続きならびに本学における学生生活を開始するにあたり，本学が必要と判断した情報を提供する目的に利用します。また，個人を特定しない形で統計的な調査に使用する場合があります。

入学試験に伴い知り得た個人情報は，本学の個人情報保護に関する取扱い(利用目的)以外には利用いたしません。また，法令に基づき，入試・広報課にて厳重に管理します。



●ＪＲ九州　鹿児島中央駅から指宿・枕崎線「喜入・山川または枕崎行」で坂之上駅下車，スクールバス運行（無料）５分。

●鹿児島交通バス　金生町発「平川動物園行」，または「指宿・枕崎行」で坂之上南バス停下車，スクールバス運行（無料）５分。
金生町発「国際大学・慈眼寺団地行」で国際大学前バス停下車，徒歩１分。

鹿児島国際大学

〈大学院入試についてのお問い合わせ先〉
〒891-0197
鹿児島市坂之上８-34-1
鹿児島国際大学入試・広報課
TEL　099-261-3211（代表）
FAX　099-261-3299（代表）
E-MAIL　nyushi@ofc.iuk.ac.jp

〔窓口受付時間〕
月～金曜日　９時～16時30分
土曜日　９時～12時